NEC



(Windows 2000 Professionalインストールモデル)

活用ガイド

本体の構成各部

周辺機器を利用する

システム設定

再セットアップ





このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本書は、お買い上げいただいたパソコンの基本的な説明 や拡張機器の接続方法、このパソコンに添付されている アプリケーションの概要などについて記載しています。 このパソコンを正しくお使いいただくために、本書をご 活用ください。

このパソコンを利用するために必要な準備作業や、添付 品の中身についてばはじめにお読みください』をご覧く ださい。

なお、Windowsの基礎知識や操作方法については、添付 の[®]Windows 2000 Professionalクイックスタートガ イド』やWindowsのヘルプなどをご覧ください。

2000年12月 初版

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

▲ 警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しま す。



注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左記の記号の場合は、感電の可能性が想定されることを示します。感電注意の他に、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれのマークとともに記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



このマニュアルで使用している表記の意味

本体	ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まない、本機を 指します。
「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」	「スタート」ボタンをクリックし、表示されるメニューから「設 定」を選択し、横に表示されるサプメニューから「コント ロールパネル」を選択する操作を指します。
[]	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
۴ ه	『 』で囲んである文字は、マニュアルの名称を指します。

このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています。

CD-R/RW モデル	CD-R/RW ドライブが標準で搭載されているモデルのことです。
CD-ROM モデル	CD-ROM ドライブが標準で搭載されているモデルのことです。
Office 2000 モデル	Office 2000があらかじめインストールされているモデルのこと です。
LAN モデル	LANボードが標準で実装されているモデルのことです。
ディスプレイセットモデル	ディスプレイがセットになっているモデルのことです。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows	$Microsoft_{\circledast}$ $Windows_{\circledast}$ 2000 Professional operating system
Windows 2000, Windows 2000 Professional	$Microsoft_{\circledast}$ $Windows_{\circledast}$ 2000 $Professional$ operating system
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Office 2000	$Microsoft_{\odot}$ Office 2000 Personal (Microsoft Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook_{\odot} 2000, Microsoft /Shogakukan Bookshelf_{\odot} Basic)
MS-IME2000	Microsoft _® IME2000
Easy CD Creator	Easy CD Creator™4 Standard
Direct CD	Direct CD™3

このマニュアルで使用しているイラストおよび画面

このマニュアルに記載のイラストおよび画面は、実際のものとは異なることがあります。

技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第72条の2第1項の規定に基づく、端末機器の設計についての認証を受けています。申請回線と認証番号は次の通りです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

認証機器名:SF-DJP-ST

認証番号

電話回線:A99-0794JP

導入にあたっては、「MDMNDJP.INF」または「MDMDJPNT.INF」のファイルを含む専用ドライパ を必ず使用してください。使用されない場合は、この技術基準を遵守できない場合がありますの で、十分にご注意ください。

高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装 置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビ ジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従っ て正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。 (社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基 づく表示)

レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825 **) クラス**1 適合のCD-ROM、または CD-R/RW **ドライブが搭載されています。**

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれ などお気付きのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンイ ンフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかか わらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows 2000および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりする と、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
- (10)本書に記載しているWebサイトや問い合わせ先、連絡先は、2000年11月現在のものです。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Active Movie、NetMeeting、Outlook、Bookshelf、 Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国 における商標または登録商標です。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国に おける登録商標です。

YAMAHAは、ヤマハ株式会社の登録商標です。

nVIDIA、nVIDIAロゴ、GeForce2 GTSは、nVIDIA社の商標です。

Easy CD Creator、Direct CDは、Adaptec, Incの商標です。

Intel、Pentiumは、Intel Corporationの米国およびその他の国々における商標および登録商標です。

K56flexは、Lucent TechnologiesとCONEXANT SYSTEMSの商標です。

PrebootManagerは、Phoenix Technologies Ltdの商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 2000 日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。 本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業 省の許可が必要となる場合があります。 必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。 輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ 下さい。

Notes on export

These products (including software) are designed under Japanese domestic specifications and do not conform to overseas standards. NEC will not be held responsible for any consequences resulting from use of these products outside of Japan.

Export of these products (including carrying them as personal baggage) may require a permit from the local government authorities. Please inquire NEC sales offices if permits are required for export.

このマニュアルの構成・読み方

このマニュアルはPART1からPART6までの構成となっていますが、PART1から順に読んでいく必要はありません。

『はじめにお読みください』でセットアップが完了しましたら、必要に応じて このマニュアルを活用してください。

索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容(♥ チェック?) 用語(● ②)、メモ(> 旦)を検索するのに都合の良い言葉を選んでいま す。

PART1 本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから内蔵されている機器まで、ハードウェア全般 の機能と取り扱いについて説明しています。

PART2 周辺機器を利用する

周辺機器を取り付ける際の注意点、周辺機器の概要とメモリやハードディス クドライブ、PCIボードなどの内蔵機器を増設する方法について説明していま す。

PART3 システム設定

本機を使用環境にあわせて設定するための、BIOSセットアップメニューの使 い方を説明しています。

別売の機器を利用するときにも、状況に応じて設定を変更できます。

PART4 **再セットアップ**

本機に添付されている「バックアップCD-ROM」、「アプリケーションCD-ROM」を使って、本機のシステムやアプリケーションを購入時の状態に復元 する方法について説明しています。

PART5 トラブル解決Q&A パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたとき、何か疑問があるときは ここを読んでください。

PART6 付録 本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

はじめにi
このマニュアルの表記についてii
ご注意
このマニュアルの構成・読み方vii
目次(このページです) viii
本体の構成各部 1
各部の名称
本体正面
本体背面 5
電源
電源の状態と操作方法9
電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)
スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)
休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)
電源の自動操作
キーボード
キーの役割 19
キーの名称と使い方
ワンタッチスタートボタンについて
アプリケーションキーとWindowsキーについて
日本語入力
使用上の注意
マウス
マウスの基本操作 30
スクロールボタンの使い方
ディスプレイ
表示できる解像度と表示色 31
使用上の注意
解像度と表示色の変更
ディスプレイの省電力機能
別売のディスプレイを使う
ハードディスクドライブ34
使用上の注意

PART

目 次

ドライブ番号の割り当て	36
エラーチェックの操作手順	36
フロッピーディスクドライブ	38
使用できるフロッピーディスク	38
フロッピーディスクの内容の保護	39
CD-R/RW ドライブ	40
再生できる CD の種類	40
CD-R および CD-RW への書き込みおよび CD-RW のフォー	·マット 41
CD-ROM の取り扱い上の注意	42
非常時のディスクの取り出し	42
サウンド機能	44
スピーカ	44
LAN (ローカルエリアネットワーク)ボード	46
LAN (ローカルエリアネットワーク)への接続	46
LAN の設定	46
FAX モデムボード	48
FAX モデムボードについて	48
FAX モデムボードを使用するときの注意	48
セキュリティ機能	51
セキュリティ機能の概要	51
セキュリティ機能	51
障害管理機能	53
周辺機器を利用する	55
接続にともなう注意点	
接続前の確認	
プラグ&プレイ セットアップについて	
デバイスドライバの追加について	57
接続時に注意すること	57
接続がうまくできない場合	58
リソースの時合が起こったら	50 59
接続できる周辺機器	
本体カバー類の取り外し	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·



レフトカバーの取り外し	62
レフトカパーの取り付け	63
フロントマスクの取り外し	64
フロントマスクの取り付け	66
ケーブルストッパの取り外し/取り付け	67
ケーブルとケーブルストッパの取り付け	67
ケーブルとケーブルストッパの取り外し	68
増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け	69
取り付け前の確認	69
増設 RAM サブボードの取り外し	
増設 RAM サブボードの取り付け	71
メモリ容量の確認方法	
PCI ボードの取り付け	74
取り付け前の確認	74
PCI ボードの取り付け	
ファイルベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け	77
取り外し/取り付け前の確認	
内蔵3.5インチベイ	
3.5 インチベイ	
5 インチベイ	89
フロッピーディスク、CD-ROMなどを使いやすくする	
(横置きに適した向きの変更)	
ストラップスイッチの設定	100
パスワードの解除(パスワードを忘れてしまった場合)	100
シフニム記史	102
システム設定	103
BIOSセットアップメニューについて	104
BIOS セットアップメニューの起動と初期画面	104
BIOS セットアップメニューの終了	105
工場出荷時の設定値に戻す	105
Main の設定	106
Main の設定	106
Advanced の設定	109



Advanced の設定	109
Security の設定	115
Security の設定	115
パスワードの解除	119
Power の設定	121
Power の設定	121
Boot の設定	124
起動順位の設定	124
再セットアップ	125
再セットアップについて	126
再セットアップが必要になるとき	126
システムの修復方法について	127
再セットアップする前の注意	127
標準再セットアップとカスタム再セットアップ	128
システムを修復する	130
前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する…	130
セーフモードで起動する	131
「Windows セットアップの修復」を使用してシステムを修	復する 132
標準再セットアップする	134
標準再セットアップについて	134
Windows 2000 の設定をする	135
カスタム再セットアップする	138
カスタム再セットアップについて	138
C ドライブのみを FAT32 で再セットアップする	140
全領域を1パーティション(FAT32)にして再セットアップ	゚゚する 141
ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップ	する 142

PART トラブル解決Q&A 145 お問い合わせの前に(トラブルチェックシート) 146 パソコンが動かない 148 パソコンがこわれそう 151

PART



xi

電源を入れたが/切ろうとしたが	153
キーボードを使っていたら	161
マウスを動かしても	163
パスワードを入力しようとしたら	164
コンピュータウイルスが発見されたら	
アフターケアについて	
付 録	
付 録 機能一覧	171
付 録 機能一覧 ^{仕様一覧}	171
 付録 機能一覧 仕様一覧 割り込みレベル・DMAチャネル 	171
 付録 機能一覧 仕様一覧 割り込みレベル・DMAチャネル 割り込みレベル 	171 172 172 176 176

PART

本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから、内蔵されている機器まで、ハードウェア 全般の機能と取り扱いについて説明します。

A R T

Ρ

この章の内容

各部の名称	2
電源	9
キーボード	19
マウス	
ディスプレイ	31
ハードディスクドライブ	34
フロッピーディスクドライブ	
CD-R/RW ドライブ	40
サウンド機能	44
LAN (ローカルエリアネットワーク)ボード	46
FAX モデムボード	48
セキュリティ機能	51



各部の名称

ここでは、本体の各部の名称とその役割について説明しています。各部の 取り扱い方法や詳しい操作方法については、各項目にある参照ページを ご覧ください。

本体正面



電源スイッチ()/())

本体の電源を入れたり、休止状態から復帰させるスイッチです。

「電源(P.9)

電源ランプ()/())

電源の状態を表示するランプです。電源が入っているときとスタンバイ 状態のときに点灯します。「電源(P.9) ハードディスクアクセスランプ(🗋)

ハードディスクドライブが動作しているときに点灯します。 「ハードディスクドライブ(P.34)

チェック パードディスクアクセスランプ点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容がこわれることがあります。

3.5インチフロッピーディスクドライブ

3.5インチのフロッピーディスクの読み書きをする装置です。 「フロッピーディスクドライブ(P.38)

ディスクイジェクトボタン

フロッピーディスクを取り出します。

ディスクアクセスランプ

フロッピーディスクドライブが動作しているときに点灯します。

チェック!/ ディスクアクセスランプ点灯中は、電源スイッチを押したり、ディスクイジェ クトボタンを押したりしてフロッピーディスクを取り出さないでください。 ディスクの内容がこわれることがあります。

CD-R/RW**ドライブ**

CD·R/RWドライブでは、CD·RまたはCD·RWに大容量のデータを書き込 むことができます。また、CD-ROMや音楽CDのデータを読み出すことが できます。「CD-R/RWドライブ(P.40)

本機に標準で搭載されているCD-R/RWドライブを取り外して、他のファイルベイ用内蔵機器に交換することができます。

「PART2 周辺機器を利用する」

CD-R/RW ドライブ拡大図



-a ヘッドホン端子(〇)

ミニプラグのステレオ ヘッドホンを接続します。この端子で聞くことが できるのは、音楽CDの再生音だけです。

-b **ヘッドホンボリューム**

CD用ヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。

-c BUSY**インジケータ**

CD-R/RW ドライブが動作しているときに点灯します。

-d ディスクトレイイジェクトボタン

トレイを出し入れするときに使います。

USB**コネクタ(・↔)**

USB機器を接続します。「キーボード(P.19)

ファイルベイおよびファイルベイカバー

ファイルベイ用内蔵機器を取り付けます。ファイルベイにはサイズの違いにより、3.5インチベイ、5インチベイの2種類があります。 ファイルベイに、リムーバブルメディア用の内蔵機器を取り付けるときには、このファイルベイカバーを取り外し、別売のファイルベイカバーを取り付けます。

参照 本機の機能を拡張するためのさまざまな機器の取り付け/取り外しについて は、「PART2 周辺機器を利用する」をご覧ください。

フロントマスク

本体前面のカバーです。

本体背面



AC電源コネクタ

ACコンセントから本体に100Vの電源を供給するためのコネクタです。 添付の電源ケーブルを接続します。

USB**コネクタ(・**↔)

USB対応機器を接続するためのコネクタ。「キーボード(P.19) USBコネクタに接続する周辺機器が本機で使用できるかどうかは、周辺 機器の製造元、または発売元にご確認ください。

マイクロホン端子(ミニジャック)() 🔊)

市販のマイクロホンを接続します。

ライン入力端子(ミニジャック)(())

市販のオーディオ機器から音声信号を入力します。

ライン出力端子(ミニジャック)((-))

市販のオーディオ機器へ音声信号を出力します。

FAXモデムボード

FAXモデムボードが内蔵されています。 電話回線に接続することで、インターネットを利用したり、FAXの送受信 などを行うことができます。「FAXモデムボード(P.48)

FAXモデムボード拡大図



-a 電話機用モジュラーコネクタ(🗇)

電話機を接続します。

-b 電話回線用モジュラーコネクタ(🖓)

電話回線を接続します。

LAN**ボード**

LANモデルの場合、LANボードが内蔵されています。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続できます。

「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード(P.46)

LAN**ボード拡大図**



-a 100BASE-TX/10BASE-T**用コネクタ**

-a 100BASE-TX/10BASE-T**用コネクタ(**品)

100BASE-TX/10BASE-Tのケーブルを接続します。

-b ネットワーク通信/接続ランプ(ACT/LNK)

ネットワーク上で読み込み/書き込みが発生すると点滅します。また、ハ ブ(マルチポートリピータなど)から、リンクパルスを受信すると点灯し ます。ただし、必ずしも本機の読み込み/書き込みとは限りません。 -c100BASE-TX**接続ランプ**

100Mbpsでネットワークが接続されていて、ハブ(マルチポートリピー タなど)からリンクパルスを受信すると点灯します。10Mbpsでネット ワークが接続されている場合は点灯しません。

アナログRGBコネクタ(〇)

アナログインタフェースのディスプレイを接続します。 「ディスプレイ(P.31)

パラレルコネクタ(🖹)

プリンタなどの機器を接続します。

- チェック PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリン タインターフェース変換アダプタ(PK-CA101)が必要です。
 - ・ D-Sub25ピンのシリアル機器を接続しないでください。

シリアルコネクタ1,2([0]0])

モデムやISDN TAなどの機器を接続します。

- ジチェック? ・ PC-9800シリーズ用の機器を接続する場合は、別売のRS-232C変換アダ プタ(PK-CA102)が必要です。
 - RS-232C変換アダプタ(PK-CA102)は、シリアルコネクタ1のみで使用できます。
 - ・周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。また、隣り合ったコネクタに同時に変換アダプタを接続すると、変換アダプタ同士がぶつかり合って接続できない場合があります。

筐体ロック(🕅)

市販のロック付き盗難防止ケーブルを取り付けます。

アース端子(🕀)

アース線を接続します。

通風孔

本体内部の熱を逃がすための通風孔です。壁などでふさがないように注 意してください。

[「]セキュリティ機能(P.51)

PCI**ZDット**

本体の機能を強化したり拡張したりするための、各種ボードを挿入する スロットです。購入時の状態では、FAXモデムボードとLANボード(LAN モデルの場合)が挿入されています。

「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード (P.46)

「FAXモデムボード(P.48)

参照 本機の機能を拡張するためのさまざまな機器の取り付け/取り外しについて は、「PART2 周辺機器を利用する」をご覧ください。

PS/2接続キーボードコネクタ(====)

別売のPS/2接続のキーボード(ミニDIN6ピン)を接続します。 「キーボード(P.19)

PS/2接続マウスコネクタ(ウ)

別売のPS/2接続のマウス(ミニDIN6ピン)を接続します。 「マウス(P.30)

MIDI/Joystick **コネクタ**

MIDI対応機器やゲームコントローラを接続します。

MIDI/Joystickコネクタに接続する周辺機器が本機で使用できるかどう かは、ご購入元、周辺機器の製造元、または発売元に確認してください。 NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」では、本機で使える周辺 機器を紹介していますので参考にしてください。

「121ware.com」のアドレス(URL) http://121.ware.com

参照 周辺機器の接続については、周辺機器に添付のマニュアル、「PART2 周辺機 器を利用する」の「接続にともなう注意点」をご覧ください。

ケーブルストッパ

キーボードなどのケーブルが抜けるのを防止したり、ケーブル接続した 機器の盗難を防止します。「PART2 周辺機器を利用する」



ここでは電源の入れ方/切り方と省電力機能について説明します。電源の 切り方を間違えるとデータやプログラム、本機がこわれてしまうことが あるので、特に注意してください。

電源の状態と操作方法

電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」電源が入っ ている状態」スタンバイ状態」休止状態」の4つの状態があります。



電源が切れている状態

Windows 2000を終了するなどして本体の使用を終了している状態で す。

電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

スタンバイ状態

ディスプレイの表示を消し、ハードディスクの電源を切りますが、パソ コンの電源は完全に切れているわけではありません。作業中のデータ をメモリに保存しているため、わずかに電力を消費しますが、すぐに作 業を開始できます。

休止状態

作業中のデータをハードディスクに保存して、Windowsを終了せずに パソコンの電源を切ります。消費電力は、Windowsを終了してパソコ ンの電源を切ったときと同じです。普通に電源を切るのとは異なり、 Windowsを終了せずに電源を切るため、休止状態から元の状態に戻す ときにWindowsが起動する時間は省かれます。ただし、スタンバイ状 態から元の状態に戻すよりも時間がかかります。購入時の状態では、マ ウスやキーボードを操作しなかったり、ハードディスクなどへのアク セスがない状態が20分以上続くと、自動的に「休止状態」になるように 設定されています。

電源の状態によるランプとディスプレイの表示は、次の通りです。

電源の状態	電源ランプ	ディスプレイの表示	ディスプレイの電源ランプ
電源が入っている	緑色に点灯	表示される	緑色に点灯
電源が切れている	消灯	表示されない	オレンジ色に点灯
休止状態	消灯	表示されない	オレンジ色に点灯
スタンバイ状態	オレンジ色に点灯	表示されない	オレンジ色に点灯

別売のディスプレイの場合は異なることがあります。

電源の操作方法

電源を操作するには以下の方法があります。詳しくは、後述の電源につい ての記載をご覧ください。

電源を入れる

電源スイッチを押す

電源の操作方法

電源を切る

電源の操作方法
「Windowsのシャットダウン」ウィンドウのメニューから「シャットダウン」を選択し、「OK」を
クリック

休止状態にする

電源の操作方法		
電源スイッチを押す(「コントロールパネル」「電源オプション」の「詳細」タブでの設定が		
必要です)		
「Windowsのシャットダウン」ウィンドウのメニューから「休止状態」を選択し、「OK」をクリック		

休止状態から復帰させる

電源の操作方法		
電源スイッチを押す		
FAXモデムによるリング機能を利用する		

スタンバイ状態にする

電源の操作方法		
電源スイッチを押す(「コントロールパネル」 「電源オプション」の「詳細」タブでの設定が 必要です)		
「Windowsのシャットダウン」ウィンドウのメニューから「スタンパイ」を選択し、「OK」をクリック		
キーボードの【スリープ】ボタンを押す		

スタンバイ状態から復帰させる

電源の操作方法		
マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキー(を押す	
FAXモデムによるリング機能を利用する		

【スリープ】ボタン、ワンタッチスタートボタン、CD/DVDプレーヤボタン、ボリュー ムボタンを除く

電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)

電源を入れる

電源が切れている状態から電源を入れるには、次の手順があります。

- チェック / 電源を入れる操作は、電源が切れてから5秒以上の間隔をあけて行ってください。
 - 1 フロッピーディスクドライブに何もセットされていないこと を確認する
 - 2 ディスプレイなど、周辺機器の電源を入れる
 - 3 本体の電源スイッチを押す

電源を切る

電源が入っている状態から電源を切るには、次の方法があります。

参照 「電源オプション」の設定の変更 Windowsのヘルプ

デェック? 電源投入後、Windows 2000の起動中やアプリケーションの起動中には、電源を切らないでください。マウスポインタが、砂時計表示されていないこと、およびハードディスクアクセスランプやディスクアクセスランプが点灯していないことを確認してから電源を切るようにしてください。

「スタート」ボタンによる方法

- 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する
- 2 「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリック
- 3 「シャットダウン」を選択して「OK」をクリック 本体の電源はソフトウェアによって自動的に切れますので、終了 処理中に電源スイッチを押さないでください。
- 4 本体の電源が切れたことを確認したら、ディスプレイおよび周辺機器の電源を切る

メモ

ソフトウェアのエラーなどで、Windows 2000の操作ができなくなって しまった場合は、『NEC電子マニュアル』トラブル解決Q&A」をご覧くだ さい。

スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を一時中断する場合は、スタンバイ状態にすることによっ て電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチに よってスタンバイ/スタンバイからの復帰を行うには、「電源オプション」 の設定を変更する必要があります。

参照/「電源オプション」の設定の変更 Windowsのヘルプ

 [✓] チェック ?? スタンバイ/スタンバイ状態から復帰する操作は、電源ランプの色が変わって
 から5秒以上の間隔をあけて行ってください。

スタンバイ状態にする

電源が入っている状態から手動でスタンバイ状態にするには、次の方法 があります。

「スタート」ボタンによる方法

- 2 「スタンバイ」を選択して「OK」をクリック 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

スタンバイ状態から復帰する

スタンパイ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の 方法があります。なお、本機をキーボードまたはマウスによってスタンパ イ状態から復帰するには、「キーボード」または「マウス」の設定を変更す る必要があります。

参照/「キーボード」または「マウス」の設定の変更 Windowsのヘルプ

入力デバイスによる方法

マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキー()を押す 画面が表示されない場合は、もう一度同じ操作をしてください。 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンバイ状態から 復帰します。

> 【スリープ】ボタン、ワンタッチスタートボタン、CD/DVDプレーヤボタン、 ボリュームボタンを除く



この中のいずれかのキーを押す

スタンバイ機能を使用するときの注意

スタンバイ機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと、スタンバイ状態にするときの作業中のデータが 失われたり、元通りに復帰できないこともあります。

スタンバイ状態にする前の内容が失われるとき

スタンバイ状態のときに次のことが起きると、スタンバイ状態にする ときの作業中のデータは失われます。

- ・電源ケーブルが本体やACコンセントから外れたとき
- ・停電が起きたとき
- ・電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

スタンバイ状態からの復帰が保証されないとき

スタンバイ状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または スタンバイ状態からの復帰中に次のようなことを行うと、スタンバイ 状態にするときの作業中のデータは保証されません。

・フロッピーディスクやCD-ROMを取り出したり、交換したとき

また、次のような状態でスタンバイ状態にするときの作業中のデータ は保証されません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- ・スタンバイ機能に対応していないアプリケーションを使用中
- ・スタンバイ機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中
- ・ Windows 2000の起動処理中、終了処理中
- 通信用ソフトウェアでFAXモデムまたはLANなどを使ってネット ワークに接続しているとき

スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されな かったことを表しています。

- ・アプリケーションが動作しない
- ・スタンバイ状態にする前の内容を復元できない
- ・マウス、キーボード、電源スイッチを押してもスタンパイ状態から復帰しない

| 本体の構成各部

このような状態になるアプリケーションを使用中には、スタンバイ機能は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できなかったときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップメニューの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

その他の注意

- ・通信ソフトウェアを使用中の場合は、通信ソフトウェアを終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のままスタンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算される場合があります。
- CD-R/RWドライブにフォトCDが入っているときにスタンバイ状態
 にした場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- ・CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合 があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- ・スタンバイ状態からの復帰を行った場合、本体はスタンバイ状態から復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボードのいずれかのキー(【スリープ】ボタン、ワンタッチスタートボタン、ボリュームボタン、CD/DVDプレーヤボタンを除く)を押すことによってディスプレイが正しく表示されます。それでも画面が表示されない場合は、もう一度同じ操作をしてください。
- ・SCSI機器を使用している場合は、接続している機器によっては正し くスタンバイ状態から復帰できない場合があります。このような場 合は、スタンバイ状態にしないでください。

休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を長時間中断する場合は、休止状態にすることによって電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチによって休止状態/休止状態からの復帰を行うには、「電源オプション」の設定を変更する必要があります。

参照/「電源オプション」設定の変更 Windowsのヘルプ

休止状態にする

電源が入っている状態から手動で休止状態にするには、次の方法があり ます。

「スタート」ボタンによる方法

- **1** 「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリック
- 2 「休止状態」を選択して「OK」をクリック 作業状態をハードディスクドライブに保存し、本機の電源が切れ、 休止状態になります。

休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の手順が あります。

1 電源スイッチを押す

Windows 2000が起動し、前回休止状態機能を使用して電源を消したときと同じ状態に復元されます。

休止状態機能を使用するときの注意

休止状態機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと休止状態にするときの作業中のデータが失われた り、元通りに復帰できないこともあります。

休止状態からの復帰が保証されないとき 休止状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または休止状 態からの復帰中に次のようなことを行うと、休止状態にするときの作 業中のデータは保証されません。

・フロッピーディスクやCD-ROMを取り出したり、交換したとき

また、次のような状態でスタンバイ状態にするときの作業中のデータ は保証されません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- ・休止状態機能に対応していないアプリケーションを使用中

- ・休止状態機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中
- ・ Windows 2000の起動処理中、終了処理中
- ・通信用ソフトウェアでFAXモデムまたはLANなどを使ってネット ワークに接続しているとき

休止状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、休止状態からの復帰が正しく実行されなかった ことを表しています。

- アプリケーションが動作しない
- 休止状態にする前の内容に復帰できない
- 電源スイッチを押しても休止状態から復帰できない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、休止状態機能 は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できなかっ たときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源ラン プが消え、電源が強制的に切れます。

この場合、BIOSセットアップメニューの内容が工場出荷時の状態に 戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

その他の注意

- CD-R/RWドライブにフォトCDが入っているときに休止状態にした場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- 休止状態からの復帰を行った場合、ディスプレイに何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキー(ワンタッチスタートボタン、CD/DVDプレーヤボタン、ボリュームボタン、【スリープ】ボタンを除く)を押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- ・ SCSIインタフェースボードを使用しているときは、接続されている 機器によっては正しく休止状態から復帰できない場合があります。 このような場合は、休止状態にしないでください。

電源の自動操作

タイマ、LAN(ローカルエリアネットワーク)回線からのアクセスによって、自動的に電源の操作を行うことができます。

 チェック!! タイマ、LAN、FAXモデムの自動操作によるスタンバイ状態からの復帰を 行った場合、本体はスタンバイから復帰しているのに、ディスプレイには何も 表示されない状態になることがあります。この場合、マウスを動かすかキー ボードのいずれかのキー(【スリープ】ボタン、ワンタッチスタートボタン、ボ リュームボタン、CD/DVDプレーヤボタンを除く)を押すことによってディ スプレイが正しく表示されます。それでも画面が表示されない場合は、もう一 度同じ操作をしてください。

タイマ

「電源オプション」の「システムスタンバイ」

「コントロールパネル」「電源オプション」の「システムスタンバイ」を 設定しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードから の入力およびハードディスクドライブへのアクセスなどがない場合、 自動的にディスプレイの電源を切ったり、スタンバイ状態にすること ができます。工場出荷時は約20分でディスプレイの電源を、30分でハー ドディスクドライブの電源を切るように設定されています。

参照/「電源オプション」の設定の変更 Windowsのヘルプ

「電源オプション」の「システム休止状態」

「コントロールパネル」「電源オプション」の「システム休止状態」を設 定しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードからの 入力およびハードディスクドライブへのアクセスなどがない場合、自 動的に休止状態にすることができます。

参照/「電源オプション」の設定の変更 Windowsのヘルプ

リング機能 FAXモデムによる電源の自動操作)

FAXモデムボードが内蔵されているモデルでは、FAXや電話を受信した 場合にスタンバイ状態または休止状態から復帰することができます。電 源を入れることはできません。

キーボード

ここでは、各キーの名称と役割、日本語入力、キーボードの使用上の注意 について説明します。キーボードの設定については、「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」の「キーボード」で行ってください。

参照 / Windowsのヘルプ

キーの役割

一般的なキーの役割です。

キーボードのキーは、一般的に次のように2種類に分けられます。 なお、本機に添付されているのは、USBマルチファンクションキーボード です。

文字を入力するキー 英数字やカタカナ、記号などの文字を入力します。下の図で白くなって いる部分のキーです。

コンピュータに指示を与えるためのキー

コンピュータに直接指示を与えるためのキーです。下の図でグレーの 色がついている部分のキーです。このキーの働きは、お使いになるアプ リケーションによって違います。詳しくは、各アプリケーションのマ ニュアルをご覧ください。



キーの名称と使い方

キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、アプリケーションの操作 に使う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するプログラ ムによって異なります。



テンキー





キーの使い方

1つのキーにいくつかの文字や記号が印字されているキーがあります。こ れらの文字や記号は、【Shift】や、日本語入力モードと組み合わせて使うこ とで入力することができます。これらの操作法法は、使用する日本語入力 プログラムによって異なります。

(例)【A ち】と【?/・め】のキーに割り当てられた個々の文字や記号を打ち 分けるには



以上の手順は、日本語入力モードの設定がすべてデフォルト(ローマ字入 力)の状態からの操作方法です。

キーをロックする

【Caps Lock】Num Lock】Scroll Lock】は、ロックされているときと、 ロックされていないときでキーの機能が異なります。

キャプスロックさせたいときは、【Shift】を押しながら【Caps Lock】を押 すことによってキーはロックし、同様の操作を行うことによってキーの ロックを解除できます。

それぞれのキーがロックされているときは、キーボード上部のランプが 点灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき
【Caps Lock】	英字が大文字で入力され	英字が小文字で入力され
	ます。	ます。
【Num Lock】	テンキーから数字が入力	テンキーの数字の下に表
	されます。	示されている機能が使え
		ます。
【Scroll Lock】	アプリケーションによって機能が異なります。	
ワンタッチスタートボタンについて

ボタンを押すだけでアプリケーションを起動することができるボタンを 「ワンタッチスタートボタン」といいます。「ワンタッチスタートボタン」 はキーボードの上部に並んでいます。また、「ワンタッチスタートボタン」 の左側には「CD/DVDプレーヤボタン」と「ボリュームボタン」右側には 【スリープ】ボタンがあります。 各ボタンの役割は以下の通りです。



CD/DVD**プレーヤボタン**

音楽CDやフォトCD、カラオケCD、ビデオCDなどの再生をコントロール します。

- 【■】:停止
- 【 ◄ 】: 前のトラック/巻き戻し
- 【▶□】: 再生/一時停止
- 【▶▶ 】:次のトラック/早送り
- ✓ チェック
 ダ チェック
 ダ 本機にインストールされている
 Jet-Audio Playerは
 削除しないでください。
 CD/DVDプレーヤボタンの
 機能の一部が利用できなくなります。

ボリュームボタン

音楽CDやビデオCDなどを再生するときは、このボタンで音量の調節が できます。

- 【 ▼ 】: ボリュームダウン
- 【 ▲ 】:ボリュームアップ

ワンタッチスタートボタン

【メール】ボタン このボタンを押すと「Outlook Express」が起動します。 【インターネット】ボタン このボタンを押すとインターネットエクスプローラが起動します。 ~ は、自由に設定することができます。 ワンタッチスタートボタンの設定は、「ワンタッチスタートボタンの設定」で変更することができます。「スタート」ボタン 「プログラム」「ワンタッチスタートボタンの設定」「ワンタッチスタートボタンの設定」で起動します。

参照 ワンタッチスタートボタンの設定方法 「ワンタッチスタートボタンの設定」 のヘルプ

メモ

「ワンタッチスタートボタンの設定」画面の「ヘルプ」ボタンをクリック するとヘルプが表示されます。

ガイドラベル

ワンタッチスタートボタンにどんなアプリケーションが割り当てられて いるかを示すラベルです。アプリケーションの割り当てを変えたときな どは新しいラベルを作ることもできます。使い方は、「ワンタッチスター トボタンの設定」ユーティリティのヘルプをご覧ください。

【スリープ】ボタン

パソコン本体をスタンバイ状態にします。

¥チェック! Windowsのセーフモードなど、Windowsのキーボードドライバが動作しない状態では、CD/DVDプレーヤボタン、ボリュームボタン、ワンタッチスタートボタン、【スリープ】ボタンの機能は使えません。

ワンタッチスタートボタンを無効にする 次の操作で、ワンタッチスタートボタンを無効にできます。

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「ワンタッチスタートボタンの設定」「ワンタッチスタートボタンを無効にする」をクリック
- 2 「「ワンタッチスタートボタン」を無効にします」と表示されるので、「はい」を選択する

3 再起動をうながすダイアログボックスが表示されるので、「はい」を選択し、再起動させる 再起動後、ワンタッチスタートボタンは無効になります。 「スタート」ボタン「プログラム」「ワンタッチスタートボタンの 設定」の「ワンタッチスタートボタンを無効にする」が削除され、「ワンタッチスタートボタンを有効にする」が追加されます。

ワンタッチスタートボタンを有効にする 次の操作で、ワンタッチスタートボタンを有効にできます。

- 「スタート」ボタン「プログラム」「ワンタッチスタートボタンの設定」「ワンタッチスタートボタンを有効にする」をクリック
- 2 「「ワンタッチスタートボタン」を有効にします」と表示されるので、「はい」を選択する
- 3 再起動をうながすダイアログボックスが表示されるので、「はい」を選択し、再起動させる 再起動後、ワンタッチスタートボタンは有効になります。 「スタート」ボタン「プログラム」「ワンタッチスタートボタンの設定」の「ワンタッチスタートボタンを有効にする」が削除され、「ワンタッチスタートボタンを無効にする」が追加されます。

アプリケーションキーとWindowsキーについて

アプリケーションキーとWindowsキーは、Windowsで使用できるキーで す。アプリケーションによってどのように利用するかは異なりますが、標 準で次のような機能が割り当てられています。

アプリケーションキー(
〇〇)

アプリケーションキーを押すと、マウスで右クリックしたときと同じ状 態になります。

Windows**+**–()

Windowsキーだけを押すと、「スタート」メニューを表示します。 Windowsキーを押しながら次のキーを押すと、次のような機能を利用す ることができます。

∎+R	「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを表示する
	現在起動しているウィンドウをすべてアイコン化する
ûsnift+∭∃+M	□□+──でアイコン化しているウィンドウを元に戻す
[]] + F 1	Windows のヘルプを起動する
∎+F	ファイルやフォルダを検索するウィンドウを表示する
ctrI+I⊞+F	コンピュータを検索するウィンドウを表示する
∎∃+ ^{Tab} I	タスクバーに表示されているボタンを順番に切り替える

日本語入力

漢字やひらがななどの日本語を入力するには、日本語入力プログラムを 使います。本機で購入時に標準で利用できる日本語入力プログラムは MS-IME2000です。

日本語入力のオン/オフ

日本語を入力するには、日本語入力をオンにする必要があります。キー ボードの【半角/全角/漢字】を押すと、日本語入力のオン/オフが切り替わ ります。日本語入力がオンになると、画面右下にMS-IME2000のツール バーが表示されます。



日本語の入力方法には、「ローマ字入力」と「かな入力」があります。入力 しやすい方を選択できます。選択は、MS-IME2000のツールバーで行い ます。



ご購入時ば「ローマ字入力」になっています。

日本語入力の基本

- 1 文字を入力する 入力した文字がひらがなで表示されます。
- 2 【スペース】を押す 入力した文字が漢字に変換されます。変換の結果が正しくない場合は、正しく変換されるまで【スペース】を繰り返し押します。
- 3 【Enter 】を押す

変換結果が確定されます。

キー表面の上段の文字を入力するときは、【Shift】を押しながらそのキーを押します。

日本語入力がオンのとき

入力したい文字	ローマ字入力	かな入力
、(読点)	(, ね) を押す	【Shift 】を押したまま ⁽ 、) 押す
。(句点)	◇・ を押す	【 Shift 】を押したまま
ー(長音、音引き)	 を押す	│ ¥-〕を押す
っ(促音)	母音の後に子音を2回続けて押す	【Shift 】を押したまま こっを
	[例]らっぱ	1甲9
	R A P P A \$\$ \$ \$ \$ \$ \$	

日本語入力がオフのとき

(チルダ)	【Shift]を押したまま 🔨 を押す
_(アンダーバー)	【Shift 】を押したまま (う)を押す
@(アットマーク)	[を押す

×E

日本語入力のしかたについて詳しくは、MS-IME2000のヘルプをご覧く ださい。

ヘルプを表示するには、ツールバーのヘルプアイコンをクリックしてく ださい。



- ヘルプを見るにはここをクリック

使用上の注意

Nキーロールオーバ

Nキーロールオーバとは、複数のキーを同時に押した場合に、最後に入力 したキーが有効となる機能です。ただし、本機のキーボードは疑似Nキー ロールオーバのため、複数のキーを同時に押した場合には、正常に表示さ れないことや有効にならないことがあります。

電源容量による接続の制限

本機に添付されたUSB接続キーボードの裏面には、USB機器を接続する ためのハブが2つ装備されています。そのうち1つは標準添付のスクロー ルボタン付きマウスが接続されます。残りの1つには別売のUSB機器を接 続できますが、電源容量による接続の制限があります。



 USB機器には、接続先に要求する電源の容量によって、「ハイパワーデ パイス」と「ローパワーデバイス」の2種類に分類されます。USB接続 キーボードに接続できるUSB機器は「ローパワーデバイス」のものに限 られます。

メモ

ハイパワーデバイス: 接続先に500mA以下の電源を要求するUSB機器。 ローパワーデバイス: 接続先に100mA以下の電源を要求するUSB機器。

- ・USB接続キーボードのUSBハブは、バスパワードハブと呼ばれるハブ で、電源が接続先から供給されて動作するハブです。
- USBの仕様では、USB機器は最大5段まで縦列接続が可能ですが、実際のシステム運用上では2段までの縦列接続でご使用になってください。

別売のUSB接続キーボードについて

本機では下記のUSB接続キーボードは使用できません。

- PK-KB001
 PK-KB011
 PK-KB021
- PK-KB002 PK-KB013
- PK-KB022
- PK-KB008 PK-KB015
 - PK-KB023
- PK-KB010 PK-KB017



マウス

ここでは、マウスの使用方法について説明します。マウスの設定について は、「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」の「マウス」で 行ってください。

参照 / Windowsのヘルプ、マウスのプロパティのヘルプ

マウスの基本操作



クリック	マウスの左ボタンを1回押す
右クリック	マウスの右ボタンを1回押す
ダブルクリック	マウスの左ボタンを続けて2回押す
ドラッグ	マウスの左ボタンを押したままマウス
	を動かし、適当な位置まできたら、ボ
	タンから指を離す

スクロールボタンの使い方

スクロールボタンを使うと、画面を上下左右にスクロールできます。

上下方向にスクロールする	スクロールボタンを前方または手前に引く
上下、左右方向にスクロール	スクロールボタンを真下に押す。マウスポインタの形
する	状が 💮 や 🕏 に変わったら、スクロールしたい方向
	にマウスを動かす。スクロールボタンをもう一度押すと、
	マウスポインタの形状が元に戻る。

- チェック パ・スクロールボタンはアプリケーションによっては使用できない場合があ ります。
 - 動きが悪くなってきたら、ボールとローラーの汚れを掃除してください。 「PART6 付録」の「本機のお手入れ」



ディスプレイの解像度と表示色は、お使いの用途に応じて切り換えて使用できます。ディスプレイの設定については、「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」の「画面」で行ってください。詳しくはWindows のヘルプをご覧ください。

表示できる解像度と表示色

解像度

ディスプレイでは文字やグラフィックを、小さな点(ドット)の集まりで 画面に表示しています。ディスプレイの解像度とは、ディスプレイの画面 上での文字やグラフィックを表現するときの、緻密さの度合いのことで す。一度に表示できるドット数を増やすことを「高解像度にする」と表現 します。ただし、解像度が高くなるにつれて、画面に表示される文字は小 さくなっていきます。画面の文字が見にくくなるときは、解像度を下げる ようにしてください。

表示色

ディスプレイの個々のドットを、何種類の色で表現できるかを示す尺度 を表示色といいます。このパソコンでは通常、次の表示色が表示できま す。

- ・16,777,216 **色(**1,677 万色)
- ・ 65,536色(6万5千色)
- ・256**色**
- 16色

また、6万5千色で表示することを、「High Color(ハイカラー表示)」、1,677 万色で表示することを「True Color(トゥルーカラー)表示」あるいは、 「Full Color(フルカラー)表示」と呼ぶこともあります。

本機では、表示する解像度と表示色は、次の表の水平走査周波数・垂直走 査周波数で表示可能となります。

本機の表示能力			
解像度 [ドット]	表示色	水平走查周波数 [KHz]	垂直走查周波数 [Hz]
	256 色	31.5	60
640 × 480	65,536 色	37.5	75
	1,677 万色	43.3	85
	256 色	37.9	60
解像度 [ドット] 表示 640×480 65,536 640×480 65,536 1,6777 256色 800×600 65,536 1,074×768 65,536 1,024×768 65,536 1,280×1,024 65,536 1,280×1,024 65,536 1,6777 256色 1,280×1,024 65,536 1,600×1,200 65,536	65,536 色	46.9	75
	1,677 万色	53.7	85
	256 色	48.4	60
1,024 × 768	65,536 色	60.0	75
	1,677 万色	68.7	85
	256 色	64.0	60
1,280 × 1,024	65,536 色	80.0	75
	1,677 万色	91.1	85
	256 色	75.0	60
1,600 × 1,200	65,536 色	93.8	75
	1,677 万色	106.3	85



- ★チェック !! 使用するディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、画面の
 位置、サイズなどの調整が必要な場合があります。調整方法については、 ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
 - 使用するディスプレイで表示可能な解像度、表示色について詳しくは、 ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧ください。

使用上の注意

リフレッシュレート(垂直走査周波数)の設定値はセットアップが完了し たときに、本体とディスプレイの組み合わせで最も適した値に自動的に 設定されます。リフレッシュレート(垂直走査周波数)の設定は機種に よってば、画面のプロパティ」で変更できる場合がありますが、ディスプ レイがサポートしていないリフレッシュレートを設定すると画面が乱れ ます。通常ご使用になるときは設定を変更しないでください。

解像度と表示色の変更

解像度や表示色の変更は、「スタート」ボタン 「設定」「コントロール パネル」の順にクリックしてコントロールパネルを開き、「画面」をダブ ルクリックして表示される「画面のプロパティ」で行います。詳しくは、 Windowsのヘルプをご覧ください。

ディスプレイの省電力機能

本機は、VESA(Video Electronics Standards Association)で定義され ているディスプレイの省電力モード(DPMS:Display Power Management System)に対応しています。 ディスプレイセットモデルのディスプレイをお使いの場合、工場出荷時 の状態ではマウスやキーボードからの入力がない状態が約20分続くと、 ディスプレイの電源を省電力モードにするように設定されています。

- 参照 ディスプレイの省電力機能 Windowsのヘルプ
- チェック
 ディスプレイに損傷を与える可能性がありますので、ご利用の前にディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

別売のディスプレイを使う

別売のディスプレイを使用する場合は、以下のことに注意してください。

- Windowsを使用する場合は、640×480ドット以上の解像度に対応した ディスプレイを使用してください。
- 別売のディスプレイを使用する場合は、ディスプレイにあわせて本体の設定を変更する必要があります。正しく設定されていないと、ディスプレイに何も表示されないことがあります。
- ・ 別売のディスプレイを使用する場合は、解像度、走査周波数の条件を満たしていることを確認してください。「表示できる解像度と表示色」
 (P.31)を参考に、適合するディスプレイを使用してください。
- ディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、ディスプレイ 側の微調整が必要な場合もあります。
- 次の別売のディスプレイは使用できません。

PC-KM212 PC-KM174

ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブは、プログラムやデータを保存する非常に精密 な装置です。振動や衝撃などが加わらないよう、取り扱いにご注意くださ い。コンピュータの使用中に、ハードディスクドライブで障害が発生する こともありますが、軽い障害であればエラーチェックプログラムを使っ て修復できる場合があります。また、大切なデータを保護するため、定期 的にデータのバックアップをとるようおすすめします。

使用上の注意

⚠ 注 意

ハードディスクドライブは、たいへん精密な機械です。次のことに注意してください。

温度、湿度条件を守ってください。

温度10 ~35 、湿度20%~80%(ただし結露しないこと)

ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。

電源が入っているときは、本体に衝撃を加えたり、持ち運んだりしないでください。 電源を切るときは、「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリックして電源を切ってく ださい。正常な終了手順に従わずに電源を切ると、ディスク上のデータがこわれてしま うことがあります。

電源を切って本体を運ぶときでも、できるだけ慎重に扱ってください。

バックアップはこまめにとる

本機に内蔵されているハードディスクドライブは、非常に精密に作られ ています。毎分数千回転するディスク面と情報を読み取る磁気ヘッドの 間は、わずかしか空いていません。このため、データを読み書きしている ことを示すハードディスクアクセスランプの点灯中には、少しの衝撃を 与えても故障の原因となることがあります。また、温度、湿度条件を守れ ない環境での使用が続いた場合は、ハードディスクドライブ内部で使用 している部品から極微量なガスが発生します。このガスは、磁気ヘッドに 付着したり、二次的にマイクロダストを発生し、磁気ヘッドの姿勢を乱す など故障の原因となることがあります。ハードディスクドライブが故障 すると、大切なデータが一瞬にして使えなくなってしまい、復帰できない 可能性があります。二度と同じものを作れないような大切なデータは、 バックアップをこまめにとることをおすすめします。

参照 / Windowsのヘルプ

アプリケーションで作成したデータは、アプリケーションによっては自 動的に保存場所が決められている場合がありますので、バックアップを とる場合はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

不良セクタ、スキップセクタ

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」またば、スキップセクタ」といいます。パーソナルコンピュータは、このような場所にはデータを記録しないようにしています。

ハードディスクに対して、Windowsの「チェックディスク」などを実行す ると、「不良セクタ」または「スキップセクタ」と表示されることがありま すが、これは、不良セクタ、スキップセクタを使わないように予防されて いたことを表しており、異常ではありません。なお、「不良セクタ」または 「スキップセクタ」が表示された場合でも、「全ディスク領域」または「全 ディスク容量」のバイト数が次の表の値であれば不良ではありませんの で、正常にお使いいただけます。

内蔵ハードディスクドライブ容量	正常値 ²
約60Gバイト ³	60,000,000,000バイト以上

1 1Gバイトを10億バイトで計算した場合の数値です。

2 表の正常値は、領域を分割しない場合の値です。

3 Windowsのシステムからは、容量が約55.8Gバイトと認識されます。

メモ

ハードディスクの記憶容量は、1M/T ト=1,000,000/T ト、1G/T ト= 1,000,000,000/T トで計算したときのM、G/T ト値を示してあります。 OSによっては、1M/T ト=1,048,576/T トでM/T ト値を、1G/T ト =1,073,741,824/T トでG/T ト値を計算していますので、この値より も小さな値で表示されます。

ハードディスクドライブの動作音について

ハードディスクドライブの動作中、本体から小さな音がする場合があり ますが、異常ではありません。

ドライブ番号の割り当て

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブには、それぞれ 呼び名が割り当てられています。これを「ドライブ番号」といいます。 工場出荷時に割り当てられているドライブ番号は次の通りです。

参照 ディスクの管理 Windowsのヘルプ、ディスクアドミニストレータのヘルプ

ドライブ番号

ドライブ番号	ドライブの種類
A ドライブ	フロッピーディスクドライブ
C ドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、16GB、FAT32)
D ドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての領域、NTFS)
E ドライブ	CD-R/RW หิวาว ์

エラーチェックの操作手順

- f デスクトップのマイコンピュータ」をダブルクリック
- **2** エラーチェックするハードディスクのアイコンをクリック
- 3 「ファイル」「プロパティ」をクリック
- 4 「ツール」タブをクリック
- 5 「チェックする」をクリック
- 6 「チェックディスクオプション」を選択する

メモ

「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」にチェックを付けると、 ディスクチェック中に発見したエラーを自動的に修復します。「不良なセ クタをスキャン(走査)し、回復する」にチェックを付けると、ディスクの 表面検査を行い、不良セクタを検出したときは使用しないようにします。

7 「開始」ボタンをクリック

ジチェック // 定期的にエラーチェックを起動して、ハードディスク上にエラーがないこと
 を確認してください。

フロッピーディスクドライブ

コンピュータに入力したプログラムやデータは、フロッピーディスクに 書き込んで保存することができます。なお、フロッピーディスクに飲み物 等をこぼした場合は使用しないでください。

使用できるフロッピーディスク

フロッピーディスクには2DD.2HDの2種類の媒体があります。本機で読 み書きまたはフォーマットできるフロッピーディスクは次の通りです。

フロッピーディスクの種類	容量	読み書き	フォーマット
<u>フロッピーディスクの種類</u> 2DD	640KB	×	×
200	720KB		
2HD	1.2MB		×
	1.44MB		

3モード対応フロッピーディスクドライバのセットアップが必要です。

- 参照 ・フロッピーディスクのフォーマット Windowsのヘルプ
 - ・3モード対応フロッピーディスクドライバのセットアップ 『NEC電子マ ニュアル』の「追加情報」

メモ

- ・ 1.2MBは、1.2MB(512バイト/セクタ)と1.25MB(1024バイト/セクタ) の2種類があります。1.25MB(1024バイト/セクタ)は、PC-9800シリー ズでサポートしているモードです。
- ・未使用のフロッピーディスクをフォーマットするには多少時間がかか ります。

フロッピーディスクの内容の保護

フロッピーディスクは保存したデータを誤って消してしまわないように するために、ライトプロテクト(書き込み禁止)ができるようになってい ます。ライトプロテクトされているフロッピーディスクは、データの読み 出しはできますが、フォーマットやデータの書き込みはできません。重要 なデータの入っているフロッピーディスクは、ライトプロテクトしてお く習慣をつけましょう。ライトプロテクトノッチを、図のように穴の開く 方にスライドさせると、書き込み禁止になります。

書き込み可能 き込み禁止

CD-R/RW**ドライブ**

CD-R/RW(Compact Disc Recordable/Compact Disc ReWritable) ドライブが標準で搭載されているモデルでは、CD-RおよびCD-RWへ大 量のデータやプログラムを記録することができます。なお、CDにラベル を貼ったり、信号面(文字などが印刷されていない面)に傷を付けないよ うにしてください。

⚠注意



CD-ROM媒体は、CD-ROM対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。大音量によって耳に障害を被ったりスピーカがこわれたりする原因となります。また、ディスクがこわれて書き込むことができなくなる場合があります。

再生できるCDの種類

本機に標準で内蔵されているCD·R/RWドライブでは、ISO9660に準拠したCDや下記の表中のCDを再生・表示することができます。CD TEXTの テキストデータ部は、読み出せません。

横置きにして8センチCDを利用する場合は、5インチベイ用内蔵機器を縦 に入れ直してください。詳しくば PART2 周辺機器を利用する」をご覧 ください。

種類	概要
CD-ROM	パソコンで見るための情報が入ったCD。本機で
	使えるのは「Windows 2000」「Windows Me」
	「Windows 98」または「Windows 95」対応の
	CD-ROM で、「 Macintosh 専用」のものは使え
	ません。
CD-R/CD-RW	データ書き込みが可能な CD。CD-R/RW モデル
	では、書き込みもできます。
音楽CD	ー般の音楽CD のことです。
ビデオ CD/ カラオケ CD	音声と動画が記録されたCDです。
フォト CD	写真を記録したCDです。

×E

- Windows 95、Windows 98、Windows Me対応のCD-ROMはWindows
 2000で使えない場合があるので購入前に確認してください。
- MacintoshでもWindowsでも使えるように作られた「ハイブリッド CD」というCDもあります。

CD-RおよびCD-RWへの書き込みおよびCD-RWのフォーマット

使用できるディスクについて

CD-RおよびCD-RWについては、Orange Book Part2(CD-R)およびPart3 (CD-RW)に準拠したディスクをご利用ください。

書き込みできる容量は、ライティングソフトによって異なります。詳しく は、Easy CD CreatorおよびDirectCDのヘルプをご覧ください。

使用するソフトウェア(ライティングソフト)について

CD-RやCD-RWに書き込むためには専用のアプリケーションが必要です。 このパソコンには、Easy CD CreatorとDirectCDが用意されています。 Easy CD Creator とDirectCDは、購入時の状態ではインストールされて いません。ご利用になる場合は、『NEC電子マニュアル』の「アプリケー ションの概要と削除/追加」をご覧になり、インストールしてください。 それぞれの使用方法については、Easy CD Creator、DirectCDのヘルプ をご覧ください。

- チェック !! ・ 書き込みに失敗したCD-Rは再生できなくなります。書き損じによるCD-Rの補償はできませんのでご注意ください。
 - ・作成したディスクのフォーマット形式や装置の種類などにより、他のCD-ROM ドライブ、CD-R ドライブ、CD-R/RW ドライブなどでは使用できな い場合がありますのでご注意ください。
 - ・ お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどからのコピーの 作成およびその利用のための著作権を所有していなかったり、著作権の所 有者からのコピーの許可を得ていない場合は、使用許諾条件または著作権 法に違反する場合があります。コピーの際は、オリジナルのCDの使用許諾 条件、複製に関する注意事項に従ってください。

CD-ROMの取り扱い上の注意

- ケースから出すときは、ケースの中央部分を押しながら取り出します。
- ・ 使用後は、収納ケースに入れるようにしてください。
- ・信号面(文字などが印刷されていない面)に手を触れないでください。
- 表面にラベルを貼ったり、文字を書いたり、キズを付けたりしないでく ださい。
- ・上に重いものを載せたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けて拭いてください。
- 清掃の際は、CD専用のスプレーを使用し、ペンジン、シンナーなどでは 拭かないでください。
- ・ゴミやホコリの多い場所での使用は避けてください。
- ・直射日光のあたる場所や、温度の高い場所に保管しないでください。

非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクト ボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、次の手順で強制 的に取り出すことができます。

▼チェック/ 本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。

1 細くて丈夫な針金を用意する 大きめのペーパークリップを伸ばしたものが使えます。



2 非常時ディスク取り出し穴(直径約2mm)に針金を差し込み、強く押す

ディスクトレイが15mmほど飛び出します。



3 ディスクトレイを手で引き出し、ディスクを取り出す



4 ディスクトレイをドライブの中に押し込む





サウンド機能

本機には音声を録音、再生するためのサウンド機能があります。本機に添 付の外付けスピーカを接続することで、音声を再生できます。 また、外部のオーディオ機器などに接続して音声を聴くことができます。 接続方法については、『はじめにお読みください』をご覧ください。

スピーカ

外付けスピーカの各部の名称

前面



電源スイッチやボリュームが付いている方がスピーカ(R)です。

背面



電源スイッチ(①)

スピーカの電源を入れたり切ったりします。つまみを右にカチッと音が するまで回すと、スピーカの電源が入り、電源ランプが点灯します。電源 を切るときは、つまみを左にカチッと音がするまで回します。電源が切れ ると電源ランプが消灯します。

音量ポリューム

スピーカの音量を調整します。右に回すと大きく、左に回すと小さくなり ます。

電源ランプ

スピーカの電源が入っているときは緑色に点灯します。

トーンボリューム

トーンを調整します。つまみを右に回していくと高音域が強調されます。

出力コネクタ(〇)

左右のスピーカを接続するためのコネクタです。

スピーカケーブル(R)

本体とスピーカを接続するためのケーブルです。

電源コネクタ

添付のACアダプタを接続するためのコネクタです。

スピーカケーブル(∟)

左右のスピーカを接続するためのケーブルです。スピーカ(R)の出力コネ クタ(□)に接続します。

LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード

このパソコンにはLANボードが標準で内蔵されています。 LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続することにより、同じ建物の 中など比較的近距離に置かれた複数のコンピュータ同士で、データの移 動、ファイルやプリンタの共有などができるようになります。ここでは LANへの接続手順を簡単に説明します。

LAN(ローカルエリアネットワーク)への接続

接続前の確認

LANボードまたは100BASE-TX/10BASE-Tコネクタが標準で内蔵され ているモデルでは、100BASE-TXまたは10BASE-Tに対応したLANに接 続することができます。本機をネットワークに接続するには、別売のマル チポートリピータ(ハブ)と、別売の専用ケーブル(リンクケーブル)が必 要です。

100BASE-TXで使用するためには、カテゴリ5のリンクケーブルが必要で す。

参照 PART6 付録 【機能一覧 (P.172)

接続方法

リンクケーブル(別売)の接続方法についてばばじめにお読みください』 をご覧ください。

LANの 設定

ここでは、LANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方 法を簡単に説明します。必要な構成要素の詳細については、Windowsの ヘルプの中にあるオンライン形式の「Microsoft Windows 2000 Professionalファーストステップガイド』のネットワーク関連の項目をご覧く ださい。 ネットワークソフトウェアをセットアップする

✓ チェック // 工場出荷時は、ネットワークプロトコル(TCP/IP)が設定されています。

- 1 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリック ここで、サービス」、「プロトコル」をセットアップできます。必要な構 成要素を追加してください。
- 3 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 4 「システム」をダブルクリック
- 5 「ネットワークID」タブをクリック
- 6 「プロパティ」をクリック
- 7 「コンピュータ名」、「ワークグループ」またば「ドメイン」に、必要な情報を入力する
- 8 入力を終えたら「OK」をクリック



FAX モデムボード

このパソコンには、FAXモデムボードが標準で内蔵されています。データ 通信機能などを利用できます。また市販の電話機を接続するためのコネ クタがついています。ATコマンドについては、『NEC電子マニュアル』AT コマンド」をご覧ください。

FAX モデムボードについて

ここでは、FAXモデムボードの機能を説明します。

データ通信機能

本機にインストールされている次のデータ通信ソフトウェアを使用する ことにより、パソコン通信などのデータ通信を行うことができます。

・ハイパーターミナル

その他のデータ通信ソフトウェアでは動作しないことがあります。

FAX通信機能

本機のデータをダイレクトにFAXに送信できます。また、本機でFAXを受 信でき、効率的にFAX送受信をサポートします。

最高56,000bpsまでの各種通信

FAXモデムは、米国CONEXANT SYSTEMS社等提唱のK56flex、および V.90を採用しています。K56flex、およびV.90では、受信時最高56,000bps、 送信時最高33.600bpsのデータ通信が可能です。

電話回線を利用して、最高56,000bpsの全二重データ通信と最高 14,400bpsの半二重FAX通信ができます。

K56flexおよびITU-T V.90の最大受信速度56,000bpsは、理論値であり、 加入電話回線での通信速度とは異なります。

FAXモデムボードを使用するときの注意

適用電話回線について

回線は、電話回線(以降、加入電話回線と呼びます)、総合デジタル通信網 (ISDN)、ファクシミリ通信網、専用回線に区別することができます。FAX モデムボードは、加入電話回線に適合するように設計され、端末機器の設 計についての認証を受けています。

「技術基準等適合認定について(P.iv)

加入電話回線以外と接続すると、FAXモデムボードやパソコン本体等を 破損する場合があります。

コードレスホンや親子電話、構内回線など、加入電話回線以外の回線をご 使用の場合は、正常なデータの送受信ができない場合があります。 FAXモデムボードは、ファクシミリ通信網には対応していません。

送信レベルについての注意

加入電話回線を使用する場合、送信レベルは工場出荷時の設定から変更 する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場 合は送信レベルの調整が必要な場合があります。送信レベルの調整は、認 定された工事担任者以外が行うことは法律で禁じられていますので、送 信レベルの調整については、NECフィールディングの各支店・営業所にお 問い合わせください。

NECフィールディングの電話番号等については、添付の「121wareガイド ブック』をご覧ください。

通信するときの注意

本体にアース線を接続していない場合や、回線の状態によっては、希望 の通信速度で通信できないことや、接続しにくい場合があります。 FAXモデムボードに接続できる電話機などは2線式のみです。電話機な どの種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。 また、接続する電話機などによっては、FAXモデムボードが正常に通信 できない場合があります。正常に通信できない場合は、次のいずれかの 方法で正常に通信できるようになります。

- ・ 接続する電話機などにアース接続用の端子がある場合は、アース線 をつなぐ。
- ・電話機などに別の電話を接続するためのコネクタがある場合は、接続の順番を変える(加入電話回線==電話機==本機のようにする)。
 接続については、電話機などのマニュアルをご確認ください。
- ・モデムによる通信の際は、電話機などを取り外す。

次のような接続を行っている場合は、モデムによる通信の前に電話機 などを使用していないことを確認してください。

- ・FAXモデムボードの電話機用モジュラーコネクタに電話機などを 接続している場合
- 市販の分岐コネクタを使用して電話機などと本機とを加入電話回 線に接続している場合

パソコン本体と電話機用モジュラーコネクタに接続されている外付け電話機など、コードレスホン、親子電話)が離れている場合

また、モデムで通信中は電話機などを操作しないようにしてください。 電話機などを操作すると、通信が妨害され、切断されることがあります。 電話機用モジュラーコネクタには、他のモデムを接続しないでくださ い。他の外付けモデムなどが、電話機用モジュラーコネクタに接続され ている場合は取り外してください。

FAXモデムボードのダイヤル信号は、ご使用になる加入電話回線のダ イヤル信号に合わせた調整が必要です。加入電話回線がトーン式かパ ルス式かわからないときは電話装置メーカや保守業者、第1種通信事業 者(NTTなど)に確認してください。

データ通信を行う場合、フロー制御はハードウェア(RTS/CTS)(工場 出荷時の設定)に設定してください。それ以外に設定するとデータ抜け が生じる可能性があります。

通信中は、電話機用モジュラーコネクタに接続した電話機の受話器を 外さないようにしてください。受話器が外れると、受話器から通信中の 音が聞こえ、通信が中断されることがあります。

キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がか かってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。

FAXを送信する相手が音声応答機能付きのFAXの場合、相手からの音声の内容によってはFAXの送信ができなくなることがあります。この場合は、外付け電話機で相手からの音声が終わったのを確認してから送信を始めてください。

電話局の交換機の種類によっては、14,400bpsでFAXの通信ができない ことがあります。この場合は通信速度を9,600bps以下にしてください。 海外と直接接続した場合、伝送路の特性のため正常に通信できないこ とがあります。

回線の状態によっては希望の通信速度で通信できない場合があります。

COMポートの設定について

FAXモデムボードが標準で搭載されているモデルのポート番号は、工場 出荷時の状態ではCOM3が割り当てられています。通常はこのままご使 用ください。

セキュリティ機能

本機はパソコンの不正使用や盗難、コンピュータウイルスの侵入などを 防止するための機能を備えています。

セキュリティ機能の概要

- 機密データの漏洩、改ざん防止、コンピュータウイルスの侵入を防ぐため、外部からデータを取り込むフロッピーディスクドライブやCD-ROMドライブを使用できないようにする(ロックする)(1/0ロック)
- ・メモリやPCIボードなどパソコンのハードウェア構成を変更させない ようにする。(筐体ロック)

本機には、このような手段・機能を利用するために、次のような機能を備えています。

セキュリティ機能

BIOS LOCK

BIOSレベルで本機の使用者を限定し、本機の起動を制限します。これにより、コンピュータウイルスやデータ改ざんなどからパソコンを守ります。

参照 PART3 システム設定」の Securityの設定 (P.115)

BIOS LOCKには、次の方法があります。

指紋認証を利用する

本体の起動時やパスワードの入力を要求される場合、別売の指紋認証 ユニット(シリアル)(PK-FP002)を利用して指紋を照合することで、 ユーザーの不正使用やデータの漏洩を防止します。また、パスワード を忘れる、パスワードを解読されるといったことを未然に防ぎます。

参照 指紋認証ユニット(シリアル)(PK-FP002)に添付のマニュアル

パスワードの設定

スーパバイザパスワード/ユーザパスワードを設定することで、本機の使用者を制限するとともに、本機の不正使用を防止することができます。 BIOSセットアップメニューでそれぞれのパスワードを設定し、 「Password On Boot」を「Enabled」に設定してください。

- デ記の状態で、管理者側のパソコンからリモートパワーオン機能で本機を起動するには、BIOSセットアップメニューの「Security」の「Network Boot Setting」の「BIOS LOCK」を「Disabled」にしなければなりません。
 - スーパバイザパスワード、ユーザパスワードが設定され、BIOSセットアップメニューの「Security」の「Password On Boot」が「Enabled」に設定されている場合
 - ・本機に指紋認証ユニットが接続され、指紋認証ユニットのBIOS LOCKが 設定されている場合

I/O**ロック**

I/Oロックは、外部とのデータ交換の手段であるI/O(フロッピーディス クドライブ、CD-ROMドライブ、シリアルポート、パラレルポートなど) を利用できないようにする機能です。この機能を利用することで、部外者 のデータアクセスを防止したり、システムに影響を及ぼすアプリケー ションをインストールすることを防止することができます。

参照 「PART3 システム設定」Securityの設定」I/Oロック(P.119)

ハードディスクパスワード

本機で使用するハードディスクドライブにパスワードを設定することに より、本機以外のパーソナルコンピュータでハードディスクドライブの 不正使用を防止することができます。万一、ハードディスクドライブが盗 難にあって、他のパーソナルコンピュータに設置された場合でも、パス ワードが必要となるため、重要なデータの漏洩を防ぐことができます。

参照 ハードディスクパスワードの設定「PART3 システム設定」Securityの 設定(P.115)

ウイルス検出・駆除

コンピュータウイルスの検出、識別、および駆除を行うには VirusScan Ver4.5」を使用します。

参照 『NEC電子マニュアル』アプリケーションの概要と削除/追加」の「VirusScan Ver4.5」 筐体ロックを使用することで、本体カバーをロックし、本体のハードウェ ア構成の変更や内蔵機器の盗難防止、パスワードの解除防止に役立てる ことができます。また、市販のロック付き盗難防止ケーブルを使用するこ とで、本体の開閉や盗難防止にも役立てることができます。 盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに 対応しており、別途購入していただく必要があります。製品についての連 絡先は、以下の通りです。

(2000年11月現在)

日本ポラデジタル株式会社第3営業部 〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-5-2はごろもビル5F Tel:03-3537-1070 Fax:03-3537-1071

ケーブルストッパ

キーボードなどのケーブルが抜けるのを防止したり、ケーブル接続した 機器の盗難を防止します。

障害管理機能

SMART機能

ハードディスクドライブの異常を監視します。標準装備されているハー ドディスクドライブは、S.M.A.R.T(Self Monitoring, Analysis and Reporting Technology)に対応しています。

ECC(Error Correcting Code)機能

メモリエラーを自動的に検出/訂正しながら運用できます。

ソフトウェアパワーオフ機能

Windows動作中に誤って電源ボタンに触れるなど、不用意に電源を切ってしまうことにより生じるファイルの破壊を防止します。



周辺機器を利用する

本機に取り付けられる周辺機器や取り付ける際の注意事項について説明 します。

必ず接続にともなう注意点」からお読みください。

この章の内容

接続にともなう注意点	56
接続できる周辺機器	61
本体カバー類の取り外し	62
ケーブルストッパの取り外し/取り付け	67
増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け	69
PCI ボードの取り付け	74
ファイルベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け	77
ストラップスイッチの設定	100

接続にともなう注意点

周辺機器を取り付ける場合、次のようなことに注意してください。

接続前の確認

取り付けたい周辺機器は、本機で使えるものですか? 取り付けたい周辺機器が本機で使えるものかどうか、周辺機器のマ ニュアルで確認するか、製造元に問い合わせてください。なお、NEC製 の周辺機器で接続可否の確認がとれているものについては、NECのパ ソコン関連総合サイト「121ware.com」で紹介しています。

http://121ware.com

レスキュー 商品の適合検索を参照してください。

リソースは確保されていますか? 周辺機器を使うには、「リソース」が必要です。まず、「デバイスマネー ジャ」で、その周辺機器で使用されるリソースが空いているかどうか確 認してください。リソースが足りない場合は、使わない機器や機能のリ ソースを空けて、その分を取り付けたい周辺機器が使えるよう設定を 変更します。

プラグ&プレイ セットアップについて

周辺機器の中には、デバイスドライバ(デバイスのためのソフトウェア) のセットアップが必要なものがあります。

プラグ&プレイとは、取り付けたハードウェアを自動的に検出してセットアップを行うWindowsの機能です。

新しいハードウェアを取り付けると、次に電源を入れたときにWindows によって自動的に新たなハードウェアが検出され、必要に応じてデバイ スドライバウィザードが起動されます。外付けの周辺機器を接続した場 合は、本体の電源を入れる前に周辺機器の電源を入れてください。 周辺機器にデバイスドライバのフロッピーディスクまたはCD-ROMが 添付されている場合は、周辺機器の取扱説明書の指示に従ってセット アップを行ってください。

デバイスドライバの追加について

- ・周辺機器によっては、デバイスドライバのセットアップが必要な場合 があります。周辺機器のマニュアルをご覧になり、必要なデバイスドラ イバを組み込んでください。
- ・デバイスドライバを組み込んだ後、本機の再起動を求められることが あります。その際には他の操作をせずに直ちにWindowsを再起動して ください。
- デバイスドライバを組み込んだ後の再起動の際には、通常よりも時間 がかかることがあります。正常に再起動されるまで電源は切らないで ください。

接続時に注意すること





接続がうまくできない場合

ケーブルは正しく接続されていますか? 見落としがちなことですが、本機や周辺機器を動かしたときなどに、 ケーブルが外れたりすることはよくあります。ケーブルがきちんと接 続されているか、確認してください。また、本体内部に機器を取り付け たときには、気付かないうちに内部の信号ケーブルなどを引っぱって しまって、接続がゆるんでしまうことがあります。本体内部のケーブル 類がきちんと取り付けられているかどうか、確認してください。

デバイスドライバは組み込みましたか?最新のものですか? 周辺機器を取り付けてもデバイスドライバが組み込まれていないと、 使うことはできません。周辺機器のマニュアルをご覧になり、デバイス ドライバを組み込んでください。また、周辺機器のデバイスドライバ は、知らないうちに改善されて新しくなっていることもあります。「デ バイスドライバの組み込み方は正しいのに、うまく動かない」といった 場合は、デバイスドライバを最新のものにするとうまく動くようにな ることもあります。周辺機器の製造元に問い合わせて、最新のデバイス ドライバを入手してください。なお、NEC製の最新デバイスドライバ はNECのパソコン関連総合サイト「121ware.com (http:// 121ware.com)で提供しています。

トップページにある「ダウンロード/修正・サポートプログラム」を参照 してください。
周辺機器に添付されているREADMEファイルや、『NEC電子マニュ アル』の「追加情報」を読みましたか?

周辺機器に添付されているREADMEファイルには、マニュアルやヘル プに記載されていない重要な情報が掲載されていることがあります。 また、『追加情報』には、本機をご利用にあたっての注意事項や、マニュ アルには記載されていない最新の情報について説明しています。

周辺機器を複数取り付けたため、何が原因かわからなくなっていませんか?

このような場合は、取り付けた機器をいったん全部外します。その後、 1つずつ取り付けては本機を起動するという作業を繰り返します。本機 が起動できなくなるなどの現象を発生させる機器があったら、その機 器に問題があります。リソースの設定やデバイスドライバの設定など が正しくできているか、確認してください。

トラブルが起きていませんか?

『NEC電子マニュアル』トラブル解決Q&A」からあてはまりそうなト ラブルを探してください。あてはまる項目が見つからない場合は、「ト ラブルを解決するには(ヒント)」をご覧ください。

また、Windowsのヘルプの「トラブルシューティングと保守」もご覧く ださい。

リソースの競合が起こったら

PCIボードは、プラグ&プレイに対応しているため基本的には設定不要で すが、本機が作動しない場合は、リソースの競合が起こっているかもしれ ませんのでここをお読みください。

最もリソースの競合が起きやすいのは、本機に新しい機器が追加された 場合です。新しい機器が検知されたときにシステムの状態が調べられま す。新しい機器がプラグ&プレイに対応している場合は、リソースの競合 が起きないように自動的に設定されます。新しい機器がプラグ&プレイ に対応していない場合は、リソースの競合が起こるとドライバを組み込 めなくなります。本機が起動しなくなるような競合に対しては、二重三重 の保護機能が働くように設定されているからです。リソースの競合が起 こっているかどうかは「コントロールパネル」の「管理ツール」の「コン ピュータの管理」の中の「デバイスマネージャ」で確認することができま す。ドライバの異常、リソースの競合など何らかの障害があると、アイコ ンに黄色い「!」マークや赤い「×」マークが表示されます。 ◆チェック // USB接続のキーボードとマウスをご使用の場合は、PS/2互換マウスポート に黄色い「」が表示されますが、異常ではありません。

> 異常が表示された場合は、まずその機器のプロパティを開いてください。 「デバイスの状態」の欄に、異常の原因が表示されます。異常の原因がリ ソースの競合であった場合は、次の方法で解決することができます。

- 1 「リソース」タブを開く
- 2 「自動設定」のチェックを外す
- 3 「設定の登録名」で別の構成を選んでから、「設定の変更」をク リック
- ◆チェック! 選択した機器やリソースの種類によっては、設定値を変更できない場合があ ります。その場合、競合を起こしているもう一方の機器の設定値を変更してく ださい。なお、本機のリソースについては、「PART6 付録」の「割り込みレベ ル・DMAチャネル」をご覧ください。



接続できる周辺機器

このパソコンには、次のような別売の周辺機器を取り付けられます。



接続できる周辺機器 61

本体カバー類の取り外し

ここでは、周辺機器や内蔵機器を取り付けるときなどに必要なカバー類 の取り外し方について説明します。

レフトカバーの取り外し

メモリやハードディスクドライブ、PCIボードなどの内蔵機器を取り付け る場合は、本体のレフトカバーを取り外す必要があります。

- 1 本機の電源を切る
- 2 盗難防止用の錠を使用している場合は、取り外す
- 3 本体に接続されているすべてのケーブル(電源ケーブル、アー ス線など)を取り外す
- **4** 背面のネジ2本を取り外し、レフトカバーを手前に引いてから、 外側に開くようにして取り外す



♥チェック/ 取り外したネジは紛失しないように、手近な箱や袋などに保管してください。

レフトカバーの取り付け

レフトカバーを取り付けるときには、次のように作業すると取り付けや すくなっています。

1 レフトカバーをフロントマスクから数センチ間を空けて、本体の上下にあわせる



2

レフトカバーを本体に押し当て、前方にスライドさせる



- 3 「レフトカバーの取り外し(P.62)で取り外したネジ2本でレフ トカバーを取り付ける
- **4** ケーブル(電源ケーブル、アース線など)を本体のコネクタに取り付ける
- 5 盗難防止用の錠を使用している場合は取り付ける

フロントマスクの取り外し

ハードディスクドライブ、CD-ROMドライブやCD-R/RWドライブなど、 5インチベイに内蔵機器を取り付ける場合は、レフトカバーとフロントマ スクを取り外す必要があります。

1 フロントマスク左側のツメ、ツメ(矢印が金属部に刻印されています)を下の図のように押して、本体から外す



2 フロントマスクの上部を押し込みながら、前方に引いて、ツメ 、ツメ を本体から外す





フロントマスクを前方に引いて取り外す



フロントマスクの取り付け

1 フロントマスク右側のツメ、ツメ、ツメの順に本体側の 穴にあわせてから、フロントマスク左側のツメ、ツメ、ツメの順に、本体側の穴にあわせるように押し込む





ケーブルストッパの取り外し/取り付け

キーボードやマウスの盗難防止とともに、ケーブル抜け防止のために、 ケーブルストッパでケーブルを本体に固定します。

ケーブルとケーブルストッパの取り付け

- 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.62)
- 2 本体内側からネジを外して、本体に取り付けてあるケーブルス トッパを取り外す



実際には、ネジの近くに内部空冷ファンが取り付けられています。この本体内部イラストでは、ネジ穴の位置をわかりやすく説明するため、省略しています。

● チェック / 取り外したネジは紛失しないように、手近な箱や袋などに保管してください。

- 3 キーボード、マウスケーブルの上からケーブルストッパを被 せ、取り外したときと逆の手順で、本体内側からケーブルごと ケーブルストッパをネジ止めして取り付ける
- 4 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.63)

ケーブルとケーブルストッパの取り外し

- **1** 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.62)
- 2 本体内側からネジを外して、ケーブルストッパとケーブルを本 体から取り外す



- 3 手順2の逆の手順で、ケーブルストッパを本体にネジ止めする
- **4** 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.63)

増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け

大量のメモリを必要とするOSやアプリケーションを使用する場合には、 別売の増設RAMサブボードを取り付けることで、メモリを増やすことが できます。

取り付け前の確認

本機に増設RAMサブボードを取り付ける前に、取り付けられる増設RAM サブボード、取り付け順序、スロットの位置を確認します。

▼チェック! Windows Meを使用する場合、最大メモリ容量は512Mバイトです。

取り付けられる増設RAMサブボード

本機には、次の増設RAMサブボードを2枚単位で、最大4枚まで取り付けられます。

型名	メモリ容量	ECC 対応
PK-UG-M027	64MB	
PK-UG-M028	128MB	

スロットへの取り付け順序

必ずスロット番号が小さい方から埋まるように取り付けてください。ス ロット#0から順番に取り付けることになります。また、必ず同じ容量の増 設RAMサブボード2枚1組で取り付けてください。

増設RAMサブボード組み合わせ例

合計容量	スロット #0	スロット #1	スロット #2	スロット #3
128MB	64MB	64MB		
256MB	128MB	128MB		
	64MB	64MB	64MB	64MB
384MB	128MB	128MB	64MB	64MB
512MB	128MB	128MB	128MB	128MB
	1	Ĩ	1	ī

同容量で2枚1組

同容量で2枚1組

Continuityボード(結線の役割をするダミーの増設RAMサブボード)実装

チェック??
・ 増設RAMサブボードの取り付け/取り外しの際、空きスロットができてしまう場合は、必ずContinuityボードを取り付けてください。本機(増設RAMサブボードが標準で2枚実装されているモデル)の場合、Continuityボードは、スロット#2とスロット#3に取り付けられています。

 ・取り外したContinuityボードは、紛失しないように手近な箱や袋などに保 管してください。

スロットの位置



増設RAMサブボードの取り外し

 ◆チェック!! 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた 状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードを破損させる原 因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシ やドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてくださ い。また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属 の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないよ うに注意してください。

- 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.62)
- 2 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く
- 3 増設RAMサブボードの左右のレバーを外側に広げる



- 4 増設RAMサブボードを上へ引き抜くようにして取り外す 取り外した増設RAMサブボードは静電気防止用の袋などに入れて 保管してください。
- 5 静かに本体を縦置きに戻す
- **6** 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.63)

増設RAMサブボードの取り付け

- ダチェック!!
 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた
 状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードを破損させる原
 因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシ
 やドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてくださ
 い。また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属
 の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。
 - **1** 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.62)

- 2 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く
- 3 増設RAMサブボードを、切り欠きAの位置と誤挿入防止機構の 位置を確認し、増設RAMサブボード用コネクタに垂直に差し込み、取り付ける スロット#0、#1、#2、#3の順番で取り付けてください。
- ジチェック // 増設RAMサブボードには向きがあります。逆には差し込めないようになっていますが、向きを間違えたまま無理に差し込むと故障の原因になりますので注意してください。



- **4** 左右2カ所のレバーが切り欠きBに掛るように、増設RAMサブ ボードをしっかり押し込む
- ジチェック // ・ 増設RAMサブボードがしっかり押し込まれたことを確認してください。
 しっかり押し込まれていないと故障の原因となります。
 - Continuityボードには、切り欠きBがありません。左右2カ所のレバーが Continuityボードの上部に掛かるように、しっかり押し込んでください。



- 5 静かに本体を縦置きに戻す
- **6** 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.63)

メモリ容量の確認方法

- 1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック 「システムのプロパティ」の「全般」タブの中にメモリの容量が表示 されます。
- チェック!
 ・メモリの容量を確認すると、搭載されている容量より若干少ない容量が表示されることがあります。これはメインメモリがシステムに割り当てられるためで、故障ではありません。「PART3 システム設定」Mainの設定」の「Extended Memory」を見て、確認してください。
 - 電源を入れた後、ディスプレイの画面が表示されるまでの時間は、メモリの容量によって変わってきます。

メモ

表示されたメモリ容量が正しくない場合は、メモリが正しく取り付けら れているか、本機で使えるメモリを取り付けているかを確認してくださ い。



PCIボードの取り付け

PCIスロットには、本機の機能を拡張させるための各種PCIボードを取り 付けることができます。

取り付け前の確認

取り付け条件

PCI スロット #1	リーフサイズ 接幅約47.60m 注字取り付け可能	
PCI スロット #2		
PCI スロット #3	フルサイズ(横幅約33cm)まで取り付け可能。	
PCI スロット #4	LAN ボード標準[固定] LANモデルの場合)	
PCI スロット #5	FAX モデムボード標準[固定]	

×E

フルサイズのPCIボードを取り付ける場合は、PCIスロット#3に取り付け ると、ケーブル類との接触を避けられ、取り付けやすくなります。

PCIボードの取り付け

▼Fryn/! PCIボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でPCI ボードを扱うと、PCIボードを破損させる原因となります。PCIボードに触れ る前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に触れて、身体の静電気 を取り除くようにしてください。また、PCIボードを持つときは、ボードの縁 の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部 分を手で触れないように注意してください。



- **1** 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.62)
- 2 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く
- **3** PCIボードカバーのレバー2ヵ所を下に押し下げて、PCIボード カバーのツメ2ヵ所を外して、PCIボードカバーを取り外す



4

PCIスロットカバーを引き抜く



5 マザーボード上のコネクタに対し垂直になるようにPCIボード を差し込み、取り付ける



6 下の図の ~ の順番で、PCIボードカバーのツメを本体の穴 に掛けるようにして、PCIボードカバーを本体に取り付ける



- 7 静かに本体を縦置きに戻す
- **8** 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.63)

ファイルベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け

取り外し/取り付け前の確認

本機にファイルベイ用内蔵機器を取り付ける前に、増設用のスロットの 種類と数、電源ケーブル、信号ケーブル、ドライブの設定を確認します。

スロットの種類と数

本機には、ファイルベイが以下の通り装備されています。

内蔵3.5インチベイ ... 3スロット(1スロット占有済) 3.5インチベイ 2スロット(1スロット占有済) 5インチベイ 2スロット(1スロット占有済)

電源ケーブル

ファイルベイ用の電源ケーブルは2種類あり、本体に装備されています。

内蔵3.5インチベイ、5インチベイ	コネクダ(大)×5本(モデルによって使
内蔵機器用	用済のケーブル数が異なります。)
3.5インチベイ内蔵機器用	コネクダ(小)×2本(1本はフロッピーデ
	ィスクドライブで使用済。)

電源ケーブルコネクタ(大)

電源ケーブルコネクタ(小)









信号ケーブル

- 内蔵3.5インチベイ(増設ハードディスクドライブ、プライマリスレーブ)用IDE信号ケーブルが標準で内蔵されたハードディスクドライブから分岐しています。
- ・3.5インチベイまたは、5インチベイ(セカンダリスレーブ)用IDE信号 ケーブルが、CD-R/RWドライブから分岐しています。

内蔵3.5インチベイ

内蔵3.5インチベイには、ハードディスクドライブを取り付けることができます(3台まで実装可能)。

ハードディスクドライブの取り付け

チェック ここからは、増設用ハードディスクドライブのマニュアルを一緒に見ながら
 取り付けてください。

- 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.62)
- 2 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り 外す(P.64)
- **3** 内蔵されているハードディスクドライブの電源ケーブル、信号 ケーブルを取り外す
- 4 ネジ2本を外し、内蔵3.5インチベイユニットを矢印方向に引いて、本体から取り外す



└ 内蔵3.5インチベイユニット

● チェック / 取り外したネジは紛失しないように、手近な箱や袋などに保管してください。

5 内蔵されているハードディスクドライブの上のスロットに、増 設用ハードディスクドライブを増設用ハードディスクドライ プに添付されているネジ4本で、、、、の順にネジ止めし て取り付ける



- ジチェック∜ ハードディスクドライブを取り付けるときは、ハードディスクドライブを落 下させないように注意してください。
 - 6 内蔵3.5インチベイユニットの上部にあるツメ4ヵ所を本体の 溝にあわせて、内蔵3.5インチベイユニットを手で押さえなが ら、矢印方向に押し込み、手順4で外したネジ2本で取り付ける



⚠注意

ハードディスクドライブを取り付けるときは、ハードディスクドライ プを落下させないように注意してください。

- 7 取り外したときと逆の手順で、信号ケーブル、電源ケーブルを もともと内蔵されているハードディスクドライブに取り付 ける
- 8 IDEインタフェースのハードディスクドライブを取り付ける場合は、標準で内蔵されているハードディスクドライブに取り付けられている信号ケーブルから分岐している信号ケーブルのコネクタを増設用ハードディスクドライブのコネクタに取り付ける SCSIインタフェース機器を取り付ける場合は、増設用ハード

SCSIインダフェース機器を取り付ける場合は、増設用ハード ディスクドライブおよびSCSIケーブルのマニュアルに従い、 信号ケーブルを取り付ける



9 電源ケーブル(電源ケーブルコネクタ(大))をポリ袋から取り出し、増設用ハードディスクドライブのコネクタに取り付ける





- 10 「フロントマスクの取り付け」の手順で、フロントマスクを取り 付ける(P.66)
- **11**「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.63)

増設したハードディスクドライブを確認する

ハードディスクドライブは、フォーマットが必要なものがあります。ハー ドディスクのフォーマット方法は増設用ハードディスクドライブのマ ニュアルをご覧ください。

取り付けたハードディスクドライブは、次の方法で確認することができ ます。

- 1 本機の電源を入れ、Windowsを起動させる
- 2 Windowsのデスクトップの画面の「マイコンピュータ」をダブ ルクリック

取り付けた分だけ、ハードディスクアイコンも増えて表示されています。 また、取り付けたハードディスクドライブが1台でも、フォーマットする 際にハードディスクを分割した場合は、その分だけハードディスクアイ コンが増えて表示されています。

取り付けたハードディスクドライブに、領域が1つも確保されていない場 合は、「マイコンピュータ」のドライブアイコンは増えて表示されません。

増設したハードディスクドライブの取り外し

「ハードディスクドライブの取り付け(P.78)の逆の手順で取り外してく ださい。

3.5**インチベイ**

3.5インチベイのスロット#2には、3.5インチベイ用リムーバブルファイ *II*(Zipドライブなど)を取り付けることができます。

3.5インチベイ用リムーバブルファイルの取り付け

- ジチェック だこからは、取り付ける3.5インチベイ用リムーパブルファイル(Zipドライ ブなど)のマニュアルをあわせてご覧になりながら取り付けてください。
 - **1** 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.62)
 - **2** 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り 外す(P.64)
 - **3** フロッピーディスクドライブに取り付けられている信号ケー ブル、電源ケーブルを取り外す



4 5インチベイにファイルベイカバーが取り付けられている場合 は、ファイルベイカバーを手前に引いて取り外す



5 5インチベイガイドレールを矢印方向に押しながら、3.5インチ ベイユニットを引き抜くようにして取り外す



2

周辺機器を利用する

6 ツメ2ヵ所を外して、3.5インチベイユニットのフロントマスク を取り外す



7 ネジ3本(正面から見て左2本、右1本)を外し、フロッピーディス クドライブを前方に引き抜くようにして取り外す



● チェック / 取り外したネジは紛失しないように、手近な箱や袋などに保管してください。

8 内部のカバーを手でつかみ、カバーが折り取れるまで本体の内 側と外側に交互に押し込む





9 3.5インチベイ用リムーバブルファイル(Zipドライブなど)を 3.5インチベイユニットのスロット#2に入れて、底面からネジ 4本で、、、、の順で取り付ける



メモ

ネジ止めする際は、3.5インチベイユニットの底面を上にして作業する と、作業しやすくなります。 10 フロッピーディスクドライブをもともと内蔵されていたス ロットに入れて、手順7で取り外したネジ3本で、、の順で 取り付ける



11 3.5インチベイユニットのフロントマスクから、ツメ2ヵ所を外 してファイルベイカバーを取り外す



- ♥チェック/ 取り外したファイルペイカバーは、紛失しないように手近な箱や袋などに保 管してください。
 - 12 足4本とツメ2ヵ所を3.5インチベイユニットの穴にあわせて、 3.5インチベイユニットのフロントマスクを取り付ける



2

周辺機器を利用する

- 13 カチッと音がするまで3.5インチベイユニットをもともと内蔵 されていたスロットに押し込み、取り付ける
- 14 取り付ける3.5インチベイ用リムーバブルファイル(Zipドライ ブなど)のマニュアルに従い、信号ケーブル、電源ケーブルを取 り付ける





15 フロッピーディスクドライブの電源ケーブル、信号ケーブルを 取り付ける





- 16 5インチベイに、ファイルベイカバーが取り付けられていた場合は、ファイルベイカバーを取り付ける
- **17** 「フロントマスクの取り付け」の手順で、フロントマスクを取り 付ける(P.66)
- **18** 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.63)

3.5インチベイ用リムーバブルファイルの取り外し

「3.5インチベイ用リムーバブルファイルの取り付け(P.84)の逆の手順 で取り外してください。

5インチベイ

本機には5インチベイが2スロット用意されています。このベイにはCD-ROMドライブなどの内蔵機器を取り付けることができます。5インチベ イに標準で内蔵されている5インチベイ用内蔵機器(CD-R/RW)を取り 外して、他のファイルベイ用内蔵機器などに交換することもできます。

5インチベイ用内蔵機器の取り外し

- **1** 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.62)
- 2 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り 外す(P.64)

3 電源ケーブル、信号ケーブルを取り外す 標準で取り付けられているCD-R/RWドライブなどは、オー ディオケーブルを取り外す



4 5インチベイガイドレールを矢印方向に押しながら、5インチベ イ用内蔵機器を前方に引き抜くようにして取り外す



5インチベイ用内蔵機器の取り付け

1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.62)

- **2** 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り 外す(P.64)
- 3 はじめてスロット#2に5インチベイ用内蔵機器を取り付ける 場合は、ファイルベイカバーの上端に指を入れて、ファイルベ イカバーを手前に引いて取り外す



- ◆チェック / 取り外したファイルベイカバーは、紛失しないように手近な箱や袋などに保 管してください。
 - 4 取り付けたいスロットにすでに内蔵機器が取り付けられている場合は、「5インチベイ用内蔵機器の取り外し」の手順で、取り付けられている内蔵機器を取り外し(P.89)取り外した内蔵機器の側面に取り付けてある5インチベイガイドレールをネジ4本(左右2本ずつ)を外して、取り外す



5 はじめてスロット#2に5インチベイ用内蔵機器を取り付ける場合は、左右の5インチベイガイドレールを5インチベイから引き 抜くようにして取り外す



6 手順4または手順5で取り外した5インチベイガイドレールと5 インチベイ用内蔵機器を手順4で取り外したネジまたは、5イン チベイ用内蔵機器に添付されているネジ4本(左右2本ずつ)で 、、、、の順に取り付ける



7 カチッと音がするまで5インチベイ用内蔵機器をスロットに押し込み、取り付ける

メモ

5インチベイのスロット#2にファイルベイカバーが取り付けてあるため に、5インチベイ用内蔵機器を取り付けにくい場合は、ファイルベイカ パーを取り外してください。 8 IDEインタフェース以外の5インチベイ用内蔵機器を取り付ける場合は、取り付ける5インチベイ用内蔵機器および5インチベイ用内蔵機器ケーブルのマニュアルに従い、信号ケーブル、電源ケーブルを取り付けるスロット#1にIDEインタフェースの5インチベイ用内蔵機器を取り付ける場合は、標準で内蔵されていたCD-R/RWドライブの信号ケーブル、電源ケーブルを取り付ける標準で内蔵されていたCD-R/RWドライブを取り付ける場合は、オーディオケーブルを取り付けるスロット#2にIDEインタフェースの5インチベイ用内蔵機器を取り付ける場合は、標準で内蔵されているCD-R/RWドライブの信号ケーブルから分岐している信号ケーブルを取り付け、本機に装備されている電源ケーブルをポリ袋から取り出し、取り付ける

●チェック// 接続方法は、5インチベイ用内蔵機器のマニュアルをご覧ください。





- **9** 「フロントマスクの取り付け」の手順で、フロントマスクを取り 付ける(P.66)
- **10** 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.63)

フロッピーディスク、CD-ROMなどを使いやすくする(横置きに適した向きの変更)

本体を横置きにしてご利用になる場合、ファイルベイ用内蔵機器の向き を替えることで、フロッピーディスク、CD-ROMなどを利用しやすくす ることができます。

- 1 「5インチベイ用内蔵機器の取り外し」の手順で、5インチベイ用 内蔵機器をすべて取り外す(P.89)
- 2 ファイルベイカバーが取り付けられている場合は、ファイルベ イカバーの上端に指を入れて、ファイルベイカバーを手前に引 いて取り外す



3 左右の5インチベイガイドレールを5インチベイから引き抜く ようにして取り外す


4 フロッピーディスクドライブに取り付けられている信号ケー ブル、電源ケーブルを取り外す



- 5 3.5インチベイのスロット#2に3.5インチベイ用リムーパブル ファイルが取り付けられている場合は、取り付けられている ケーブル類を取り外す
- 6 5インチベイガイドレールを矢印方向に押しながら、3.5インチ ベイユニットを引き抜くようにして取り外す



7 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く

8 横向きにして、カチッと音がするまで、3.5インチベイユニット、 5インチベイ用内蔵機器を奥まで押し込む



9 空きスロットがある場合は、5インチベイのスロット#2から5インチベイガイドレールを取り外したときと同じ向きで、窪んでいる方を本体内側に向けて、空きスロットの本体内側の左右のレールに載せて、5インチベイガイドレールを押し込み、取り付ける



10 ファイルベイカバーの側面の矢印が上を向くように、ファイル ベイカバーを取り付ける



11 3.5インチベイ用リムーバブルファイル(取り付ける場合)、フ ロッピーディスクドライブ、5インチベイ用内蔵機器(スロット #2、#1)の順番で、取り外したときと逆の手順でケーブル類を取 り付ける

⚠注意



フロッピーディスクドライブの信号ケーブルのコネク タには向きがあります。ずれたり、向きを間違えたまま 無理に差し込むと故障の原因となりますので、注意 してください。 12 フロントマスク表面の「NEC」のネームプレートを、フロントマ スクの裏側から、ネームプレートの足4ヵ所をドライバの先な どで押し込むようにして取り外し、90°回転させて、フロントマ スクに取り付ける



13 フロントマスク下側のツメ、ツメ、ツメの順に本体側の 穴にあわせてから、フロントマスク上側のツメ、ツメ、ツメ の順に本体側の穴にあわせるように押し込む



14 レフトカバーをフロントマスクから数センチ間を空けて、本体 の左右にあわせる



15 レフトカバーを本体に押し当て、前方にスライドさせる



- 16 「レフトカバーの取り外し(P.62)で取り外したネジ2本でレフ トカバーを取り付ける
- **17** ケーブル(電源ケーブル、アース線など)を本体のコネクタに取り付ける
- 18 盗難防止用の錠を使用している場合は取り付ける



ストラップスイッチの設定

BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを解除したいときに、 ストラップスイッチを利用します。

パスワードの解除(パスワードを忘れてしまった場合)

本機では、BIOSセットアップメニューを使用してスーパバイザパスワー ドとユーザパスワードを設定できます。これらのパスワードを忘れてし まった場合、次の方法でパスワードを解除することができます。通常のパ スワードの解除の方法は、「PART3 システム設定」の「Securityの設定」 をご覧ください。

- - 1 パソコンの電源を切り、電源プラグを壁などのコンセントから 抜く
 - 2 「レフトカバーの取り外し」の手順でレフトカバーを取り外す (P.62)
 - 3 ストラップスイッチのジャンパを次の図のように引き抜く 抜いたジャンパはなくさないように保管してください。



- **4** 「レフトカバーの取り付け」の手順でレフトカバーを取り付け る(P.63)
- 5 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動させる

●チェック / レフトカバーを取り外した状態で、電源を入れないでください。

- 6 Windowsを終了して、電源を切る
- 7 「レフトカバーの取り外し」の手順でレフトカバーを取り外す (P.62)
- 8 手順3で引き抜いたジャンパをストラップスイッチに差し込む
- **9** 「レフトカバーの取り付け」の手順でレフトカバーを取り付け る(P.63)
- 以上で、パスワード解除のストラップスイッチの設定は終了です。



システム設定

セキュリティ、省電力など本機の使用環境を設定するBIOSセットアップ メニューについて説明します。 「BIOSセットアップメニューについて」からお読みください。

この章の内容

BIOSセットアップメニューについて	104
Main の設定	106
Advancedの設定	109
Securityの設定	115
Power の設定	121
Boot の設定	124

BIOSセットアップメニューについて

本機には、使用環境を設定するためにBIOSセットアップメニューが内蔵 されています。工場出荷時は、BIOSセットアップメニューは英語で表示 されます。

BIOSセットアップメニューの起動と初期画面

1 電源を入れた直後に表示される「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot. () と表示されたら、【F2】を押す 以下の画面が表示されます。

> メニューを日本語に設定した場合は、「F2:BIOSセットアップメニューを 起動します、F12:ネットワークブートします。」と表示されます。

l	Pho	enixBIOS Setu	up Utility				
Main Ad	vanced Securi	ty Power	Boot	Exit] メニューバー
System Time	:	[hh:mm:ss]			Item Specific Help	1=	1
System Date	:	[yyyy/mm/o	dd]		<tab>, <shift-tab>, or</shift-tab></tab>	1	
Language : Legacy Diske Primary Masi Primary Slave Secondary M Secondary SI SMART Devi	etteA : ter : e : aster : ave : ce Monitoring:	[English(US [1.44/1.25 M [× × × × M [None] [CD-ROM] [None] [Enabled]	S)] 1B 3.5"] B]		<enter> selects field</enter>		パラメータ
 Keyboard Fei Boot-time Dia System Mem Extended Me BIOS Revisio 	atures agnostic Screen ory emory n	[Disabled] 640KB × × KB × × × × × ×	×××				
F1 Help Esc Exit	Select Item Select Menu	- / + Ch Enter Sele	ange Valu ect ▶ Sub-M	Jes Venu	F9 Step Defaults F10 Save and Exit		キーステータスパー

×E

BIOSセットアップメニューの基本操作

・【 】 】 】 】で設定項目および設定項目内を選択します。

- ・「Date J Time 」の設定ではカーソル移動は Tab Jで行います。
- ・【Enter】で設定項目を表示します。

BIOSセットアップメニューの終了

メニューバーの Exit 」の選択項目

選択項目	説明
Exit Saving Changes	変更した内容を保存してから終了します。
	(【F10】を押す終了方法と同じ)
Exit Discarding Changes	変更した設定を保存せずに終了します。
Load Setup Defaults	すべての選択項目を工場出荷時の設定値に
	戻します。
Discard Changes	変更前の値に戻します。
Save Changes	変更した値を保存します。

工場出荷時の設定値に戻す

工場出荷時の設定値に戻す方法について説明します。

- 1 電源を入れる
- 2 「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す BIOSセットアップメニューが表示されます。
- 3 【F9】を押す

「Setup Confirmation」のダイアログボックスが表示されます。

- Yes」を選択し、【Enter】を押す
 工場出荷時の設定値を読み込みます。
- 5 【F10】を押す
- 6 「Yes」を選択し、【Enter】を押す 設定値が保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。
- 以上で作業は終了です。



Mainの設定

()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動したとき に変更可能な項目です。

System Time() 現在の時刻を「時:分:秒」で入力します。

System Date() 日付を「年/月/日」で入力します。

Language() BIOSで使用する言語を設定します。日本語または英語を選択できま す。工場出荷時は English(US)」に設定されています。

Legacy Diskette A

フロッピーディスクドライブのモードを選択します。

「1.44/1.25MB 3 1/2 "」に設定されています。

「Disabled」にするとフロッピーディスクドライブが使用できなくな **ります。(**)/()ロック)

設定項目	設定内容	
Legacy Diskette A	Disabled	
	360 Kb	5 1/4"
	1.2 MB	5 1/4"
	720 Kb	3 1/2"
	1.44/1.25 MB	3 1/2"
	2.88 MB	3 1/2"

現在接続されているIDEデバイス(工場出荷時に内蔵されているハー ドディスクドライブンが表示されます。この項目にカーソルをあわせ 【Enter】を押すと設定画面となります。

プライマリマスタの設定と同様です。3.5インチベイに増設されるIDE

プライマリマスタの設定と同様です。工場出荷時に内蔵されている CD-ROM ドライブまたはCD-R/RW ドライブの設定画面となります。

5インチベイに増設されるIDEデバイスの設定画面になります。

Primary Master()

▼チェック// 本項目の設定は変更しないでください。

▼チェック / 本項目の設定は変更しないでください。

▼チェック! 本項目の設定は変更しないでください。

▼チェック! 本項目の設定は変更しないでください。

Primary Slave()

デバイスの設定画面になります。

Secondary Master()

Secondary Slave()

プライマリマスタの設定と同様です。

荷時は「Enabled」に設定されています。

SMART Device Monitoring ハードディスクドライブに対してSMART機能を設定します。工場出

Kevboard Features

キーボード機能を設定します。この項目にカーソルをあわせ Enter Jを 押すとサブメニュー設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
NumLock	Auto / On / Off	起動時にNum lockを有効
		にするかを設定します。
Key Click	Disabled / Enabled	キークリック音を使用するか
		どうかを設定します。
Keyboard auto-	30/sec, 26.7/sec, 21.8/sec,	キーリピート間隔を設定します。
repeat rate	18.5/sec.13.3/sec.10/sec.	
	6/sec.2/sec	

設定項目	設定内容	説明
Keyboard auto-	1/4sec, 1/2sec, 3/4sec	キーリピートが開始されるま
repeat delay	1sec	での待ち時間を設定します。
Legacy USB	Enabled / Disabled	USB レガシー機能を設定しま
Support		す。工場出荷時は、「Enabled」
		です。
Select USB	Channel 1 / Channel 2	USB レガシー機能の切り替
Channel		えを行います。「 Legacy
		USB Support JErabled J
		にした場合、BIOS上で本体
		背面のUSB コネクタを使用
		する場合は「Channel 1」、
		本体前面のUSBコネクタを
		使用する場合は「Channel
		2」に設定します。

Boot-time Diagnostic Screen

起動時に自己診断画面を表示するかを設定します。「Enabled」にする とNECのロゴを表示せずに自己診断画面を表示します。工場出荷時は 「Disabled」です。

System Memory

搭載されているシステムメモリ容量を表示します。

Extended Memory

搭載されている拡張メモリ(メインRAM)を表示します。

BIOS Revision

搭載されているBIOSのリビジョンを表示します。

Advancedの設定

Advancedの設定

ユーザパスワードで起動した場合、「Advanced」が選択できなくなり ます。

Plug & Play O/S

工場出荷時は、「Yes」に設定されています。Windows 2000に他のOSを 追加してセットアップ(デュアルプート)した場合は、起動するOSに よって設定内容を変更してください。

Reset Configuration Data

PCIボードなどのプラグ&プレイ機器の設定値のみを初期化したい場合には、「Yes」を選択します。工場出荷時は No」に設定されています。 ただし、「Yes」に設定した後、再度BIOSセットアップメニューを起動 すると「No」に戻ります。

PCI Configuration

各PCIデバイスの割込み番号(IRQ)を設定します。この項目にカーソルをあわせ【Enter】を押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
PCI IRQ line 1	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 1 で使用する
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	IRQ 番号を設定します。
PCI IRQ line 2	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 2 で使用する
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	IRQ 番号を設定します。
PCI IRQ line 3	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 3で使用する
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	IRQ 番号を設定します。
PCI IRQ line 4	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 4 で使用する
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	IRQ 番号を設定します。

設定項目	設定内容	説明
PCI IRQ line 5	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 5 で使用する
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	IRQ 番号を設定します。
PCI IRQ line 6	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 6 で使用する
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	IRQ 番号を設定します。
PCI IRQ line 7	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 7 で使用する
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	IRQ 番号を設定します。
PCI IRQ line 8	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 8 で使用する
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	IRQ 番号を設定します。

PCI Configurationの設定項目とPCIスロットは、次のように対応して います。

設定項目	PCI スロット
PCI IRQ line 1	PCI スロット #1、PCI スロット #5
PCI IRQ line 2	-
PCI IRQ line 3	PCI スロット #2
PCI IRQ line 4	-
PCI IRQ line 5	-
PCI IRQ line 6	PCI スロット #3
PCI IRQ line 7	PCI スロット #4
PCI IRQ line 8	-

Cache Memory

▼チェック // 本項目の設定は変更しないでください。

I/O Device Configuration

入出力機器の設定を行います。この項目にカーソルをあわせ【Enter】を 押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
Serial port A	Disabled	シリアルポートAが使用できな
(シリアルコネクタ		くなり(1/0ロック)、割り込み
またはシリアルコ		が開放されます。
ネクタ 1)	Enabled	1/0ベースアドレスと割り込み
		が設定で さ ます。
	Auto	1/0ペースアドレスと割り込み
		を自動的に設定します。

設定項目	設定内容	説明
Base I/O	3F8 /2F8/3E8/2E8	1/0ペースアドレスを設定します。
Address		
Interrupt	IRQ3/ IRQ4	割込み番号を設定します。
Serial port B	「Serial port A」と同	工場出荷時は、 [「] Disabled」に設
(シリアルコネクタ2)	様です。	定されています。
Mode	Normal /IR	シリアルポートBのモードを設定しま
		す。
Parallel port	Disabled	パラレルポートが使用できなくなり
(パラレルコネクタ)		(1/0ロック)、割り込みが開放され
		ます。
	Enabled	パラレルポートのモード、1/0ベース
		アドレス、割込み番号を設定できま
		す。
	Auto	自動的にパラレルポートを設定しま
		す。
Mode	Output only/	モードを設定します。
	Bi-directional /EPP/	
	ECP	
DMA Channel	DMA 1/ DMA 3	パラレルポートがECPモードのとき
		に使用するDMAチャネルを設定し
		ます。「Mode」で「ECP」を選択し
		た場合に表示されます。
Base I/O	378 /278/3BC	オプションを使用してパラレルポート
Address		に1/0アドレスを設定します。
Interrupt	IRQ5/ IRQ7	パラレルポートに割込み番号を設
		定します。
Floppy Disk	Disabled/	フロッピーディスクドライブの使用を
Controller	Enabled / Auto	設定します。工場出荷時は、
		「Enabled」です。「Disabled」で
		はフロッピーディスクコントローラが
		使用できなくなります(1/0ロック)。

設定項目	設定内容	説明
Game Port &	Disabled	Midi ポートが使用できなくなり、割
Midi (MIDI/		り込みが開放されます。
Joystic コネクタ)	Enabled	1/0ペースアドレスと割り込みが設
		定できます。
	Auto	/0ペースアドレスと割り込みを自
		動的に設定します。
Basel/O	201 /209/211/219	Midi ポートの I/O ベースアドレスを
Address		設定します。
Basel/O	300 IRQ_5 / 310 IRQ_10/	Midi ポートの割り込みを設定します。
Address/IRQ	320 IRQ_5/330 IRQ_10	

参照 I/O**ロック**「Securityの設定(P.119)

Large Disk Access Mode 本項目の設定は変更しないでください。

Local Bus IDE adapter 内蔵用のIDEアダプタを使用するかを設定します。工場出荷時は 「Both」に設定されています。「Primary」ではセカンダリマスタ/スレー プ接続のIDEデバイスが、「Secondary」ではプライマリマスタ/スレー プ接続のIDEデバイスが、「Disabled」ではすべてのIDEデバイスが使 用できなくなります。(I/Oロック)

Advanced Chipset Control



QuickBoot Mode

「Enabled」に設定した場合、本機起動時の一部のテストをスキップします。システム起動時間が短縮されます。工場出荷時ば「Enabled」に設定されています。

Summary Screen

「Enabled」に設定すると起動時にシステム設定状況を表示します。工 場出荷時は「Disabled」に設定されています。

AC97 Audio

内蔵サウンドの使用を設定します。工場出荷時は Enabled Jです。

AC97 Modem

▼チェック // 本項目の設定は変更しないでください。

DMI Event Logging

起動時に起きたイベントログを参照できます。この項目にカーソルを あわせて【Enter】を押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
View DMI	(設定項目はありません)	【Enter】を押すとDMIイベ
Event Log		ントログを表示します。
Clear All DMI	No /Yes	「Yes」を選択すると、再起
Event Logs		動後すべての DMI イベン ト
		ログをクリアします。
Event Logging	Enabled / Disabled	「Enabled」ではDMIイベン
		トログを記録します。
ECC Event	Disabled/Enabled	「Enabled」ではメモリエラー
Logging		のDMI イベントログを記録し
		ます。
Mark DMI	Yes/No	【Enter 】を押し、「Yes 」を選
Events As Read		択すると表示されているログ
		は既読状態となります。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

×E

DMI(Desktop Management Interface)とは、システム管理を行うため に各PCの管理を容易に行うためのハードウェア/ソフトウェアのインタ フェースの標準仕様のことです。

Default Primary Video Adapter

プライマリのグラフィックカードの設定をします。「AGP」では本体内蔵 のグラフィックカードを、「PCI」ではPCIスロットに挿入された別売の グラフィックカードを優先して使用します。工場出荷時ば AGP」です。 Hardware Monitor Control

本機の状態監視を設定します。この項目にカーソルをあわせ【Enter】を 押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
Chassis Intrusion	Disabled /Enabled	筐体の開閉監視を設定します(ルー
		フカバーオープン検知)。 工場出荷
		時は、「Disabled」に設定されてい
		ます。なお、メッセージを解除する
		場合は、「Reset Chassis Intrusion」
		を「Yes」にして再起動してください。
Reset Chassis	No /Yes	筐体の開閉監視の初期化を設定
Intrusion		します。「Yes」で初期化します。
		再起動時には「No」に設定され
		ます。



Securityの設定

セキュリティに関する各種設定を行います。 項目の右側に()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで 起動したときに変更可能な項目です。

 ジチェック ?? スーパパイザパスワード/ユーザパスワード、BIOS LOCK、ハードディスク パスワードを設定する場合は、パスワードやパスワードの解除の方法を忘れ たときのために、事前にこの「Securityの設定」および「PART2 周辺機器を 利用する」の「ストラップスイッチの設定」をご覧ください。

Supervisor Password Is

スーパバイザパスワードの設定状態を表示します。工場出荷時は 「Clear」です。

設定項目	設定内容	説明
Supervisor Password Is	(設定項目は	「Set」が表示された場合、スーパ
	ありません)	バイザパスワードが設定されてい
		ます。
		「Clear」が表示された場合、スー
		パバイザパスワードが設定されて
		いません。

Set Supervisor Password スーパパイザパスワードを設定します。

設定項目	設定内容	説明
Set Supervisor	(パスワードを	項目にカーソルをあわせて【Enter】
Password	設定します)	を押すとスーパバイザパスワード
		の設定画面になります。

User Password Is

スーパバイザパスワードと同じ表示です。

3 システム設定

Set User Password() スーパバイザバスワードと同じ設定です。

ジチェック // ご購入元、またはNECに本機の修正を依頼される際は、設定したパスワード を解除、および無効にしておいてください。

参照 NEC のお問い合わせ先 『121 ware ガイドブック』

メモ

スーパバイザパスワードとはBIOSセットアップメニューの使用者を制 限するための機能です。

スーパバイザパスワードの設定を行うとBIOSセットアップメニュー起 動時、パスワードの入力画面となり設定されたスーパバイザパスワード を入力しない限りBIOSセットアップメニューの起動はできません。

ユーザパスワードとはBIOSセットアップメニューの使用者を制限し、 BIOSセットアップメニューで設定可能な項目も制限するための機能で す。

Security Mode

セキュリティモードを選択します。「Password」と「SmartCard」と「FingerPrint」が選択できます。工場出荷時は「Password」です。

- ・「Password」……スーパバイザパスワード設定時に設定します。
- ・「SmartCard」…… スマートカード使用時に設定します。
- ・「FingerPrint」 ... 指紋認証ユニット使用時に設定します。

Password On Boot

起動時にパスワード入力を行うかの設定をします。「Security Mode」 が Password の場合に表示されます。リモートパワーオン機能を利用 するときは、「Network Boot Setting 」の「BIOS LOCK」を「Disabled」 に設定します。工場出荷時は「Disabled」です。

Fixed disk boot sector

ハードディスク起動セクタを書き込み禁止にするかの設定をします。 「Write Protect」にすると起動セクタをウイルスから保護します。工場 出荷時は「Normal」です。

Diskette Access

「Supervisor」に設定するとスーパバイザ以外フロッピーディスクドラ イブにアクセスできなくなります。工場出荷時は「Supervisor」です。

- ・スーパバイザ/ユーザパスワードを設定
- ・「Password On Boot」を「Enabled」に設定

Network Boot Setting

この項目にカーソルをあわせ、【Enter】を押すと、サブメニュー設定画 面となります。

設定項目	設定内容	説明
Keyboard/	Enabled / Disabled	「Enabled」を選択すると、リ
Mouse Lock		モート起動時(OSが起動さ
		れるまで)にキーボード/マウ
		スをロックします。
BIOS LOCK	Enabled/ Disabled	「Disabled」を選択すると、
		「Password On Boot」で
		「SmartCard 」または
		「FingerPrint」が設定され
		ていてもリモート起動時にパ
		スワード入力を要求しません。
		この項目は、パスワードを設定
		した場合、スマートカードリーダ
		または指紋認証ユニットを接
		続した場合に表示されます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

 ジチェック // ここでのリモート起動時とは、管理者側のパソコンからクライアントPC(本 機)をリモートパワーオン機能により起動することを指します。

Virus check reminder

起動時に警告メッセージを表示します。表示するタイミングは 「Disabled」「Daily」「Weekly」「Monthly」の中から選択します。工場 出荷時は「Disabled」に設定されています。

System backup reminder

起動時に警告メッセージを表示します。表示するタイミングは 「Disabled」、「Daily」、「Weekly」、「Monthly」の中から選択します。工場 出荷時ば「Disabled」に設定されています。二度と同じものを作れない ような大切なデータがある場合には、定期的にバックアップをとれる よう、設定を変更することをおすすめします。 Assign HDD Password ハードディスクドライブ(プライマリマスタ、プライマリスレーブ)に パスワードを設定します。ハードディスクパスワードには、ハードディ スクマスタパスワード(HDD Master Password)とハードディスク ユーザパスワード(HDD User Password)の2つがあります。【Enter】 を押すとハードディスクマスタパスワードの設定画面が表示され、 ハードディスクマスタパスワードを設定すると、ハードディスクユー ザパスワードの設定画面が表示されます。次にプライマリマスタまた はプライマリスレーブの設定を【+】-】で行います。なお、プライマリ マスタまたはプライマリスレーブの設定を変更されないよう、スーパ バイザパスワードを設定してください。

- ぐチェック!? ご購入元、またはNECに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除、および無効にしておいてください。
 - 参照 NEC のお問い合わせ先 『121 ware ガイドブック』
 - ハードディスクマスタパスワード(HDD Master Password)
 ハードディスクマスタパスワードは、ハードディスクユーザパスワードを解除するためのパスワードです。ハードディスクマスタパスワードの解除方法については、後述の「パスワードの解除」をご覧ください。
 - ・ハードディスクユーザパスワード(HDD User Password)
 ハードディスクユーザパスワードは、本機とハードディスクドライブの認証を行うためのパスワードです。ハードディスクユーザパスワードを設定することにより、本機以外でハードディスクドライブの不正使用を防止できます。

⚠注意

設定したパスワードを忘れないように控えておくことをおすすめします。 パスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは、 当社でも取り出せなくなります。また、パスワードを忘れたために使用で きなくなったハードディスクドライブを交換する場合は有償になります。 ハードディスクドライブのパスワードは忘れないように十分に注意して ください。

設定項目	設定内容	説明
Primary Master	Enabled/ Disabled	ハードディスクドライブ(プライマ
HDD Password		リマスタ)へ、ハードディスクパス
		ワードを設定します。
Primary Slave	Enabled/ Disabled	追加ハードディスクドライブ(プラ
HDD Password		イマリスレーブ)へ、ハードディス
		クパスワードを設定します。追
		加ハードディスクドライブを搭載
		した場合に表示されます。

本機、プライマリマスタにインストールされたWindows)を起動する場 合、「Primary Master HDD Password」を「Enabled」にしても、設定した ハードディスクマスタパスワードやハードディスクユーザパスワードを 入力する必要はありません。

×E

I/Oロックは、外部とのデータ交換の手段であるI/Oを使用しないように する(ロックする)機能です。BIOSセットアップメニューのI/Oを 「Disabled」に設定することでロックを有効にすることができます。対象 となるインターフェイスは、フロッピーディスクドライブA、フロッピー ディスクドライブB、シリアルポートA、シリアルポートB、パラレルポー ト、MIDIポートです。

パスワードの解除

スーパバイザ/ユーザパスワードおよびハードディスクマスターパス ワードの場合 本機では、BIOSセットアップメニューの使用者をスーパバイザパス ワード/ユーザパスワードの設定により制限したり、本機以外のパーソ ナルコンピュータでのハードディスクドライブの不正使用をハード ディスクパスワードで防止しています。パスワードを入れて【Enter】を 押すと解除されます。もし、スーパバイザ/ユーザパスワードを忘れて しまった場合のパスワードの解除方法についてば PART2 周辺機器 を利用する」の「ストラップスイッチの設定」をご覧ください。

ハードディスクパスワードの場合

次の手順でハードディスクドライブのパスワードをすべて解除してく ださい。

1 BIOSセットアップメニューを起動する

参照 「BIOS セットアップメニューについて (P.104)

- 2 「Security」を選ぶ
- **3** 「Assign HDD Password」を選んで、【Enter】を押す ハードディスクパスワードの入力画面が表示されます。
- 4 ハードディスクマスタパスワードを入力する
- 5 【Enter 】を押す
- 6 【Enter】を押す セットアップ通知画面が表示されますので、BIOSセットアップメ ニューの変更を保存して終了してください。

以上で、ハードディスクドライブのパスワードがすべて解除されます。

Powerの設定

Powerの設定

本機の省電力管理設定を行います。

ユーザパスワードで起動した場合、「Powerの設定」の項目は設定できなくなります。

「Power Savings」「Standby Timeout」「Auto Suspend Timeout」 「Hard Disk Timeout」「System Switch」「Power Button Behavior」 の設定は、「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」「電源オ プション」で行ってください。

参照 「電源オプション」の設定 Windowsのヘルプ

 System Switch 」「Power Button Behavior」の設定は無効になり、「ス タート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」の「電源オプション」の「詳 細」タブの「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の設定が有効になりま す。

> 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の設定を「電源オフ(工場出荷時) から「スタンバイ」または「休止状態」に変更した場合、電源を切る操作は次の ようになります。

正しく電源を切る方法

「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリック

「次の中から選んでください」で「シャットダウン」を選択して「OK」を クリック

自動的に電源が切れます。

強制的に電源を切る方法

次の方法で、強制的に電源を切ることができます。「方法1」で切れない場合「方法2」を行ってください。なお、強制的に電源を切った場合は、本機の 電源を入れ直してWindowsを起動させ、再度、正しく電源を切ってくだ さい。 **方法**1

電源スイッチを押す 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンパイ状態になります。

2 電源スイッチを4秒以上押し続ける 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、電源が切れると電

源ランプが点灯しなくなります。

方法2

電源スイッチを4秒以上押し続ける 電源ランプがオレンジ色に点灯し、一瞬だけ緑色に変わり、電源が切れると電源ランプが点灯しなくなります。

Power Savings

本項目での設定は無効になります。

Auto Suspend Timeout 本項目での設定は無効になります。

Power Button Behavior 本項目での設定は無効になります。

Power Loss Resume

AC電源(AC100V)が失われ、再投入したとき、どの状態に復旧するかを設定します。

設定項目	設定内容	説明
Power Loss Resume	Keep Off	AC投入時に電源は入りません。
	Keep Loss	AC電源が失われたときの状
		態に戻します。電源が入っ
		ている状態でAC電源が切
		られた場合は、電源が入りま
		す。電源が切れている状態
		でAC電源が切れた場合は、
		電源は入りません。
	Keep On	AC投入時に電源が入ります。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

Keyboad Power On

▼チェック!/ 本項目の設定は変更しないでください。

3 システム設定

Mouse Power On

▼チェック!/ 本項目の設定は変更しないでください。

Resume On Modem Ring 本項目での設定は無効になります。

Resume On PME

PCIデバイス(LANボード等)によって電源を操作します。リモートパ ワーオン機能を利用するには、本項目を「On」に設定します。工場出荷 時ば On」です。

×Ε

PME(PCI Power Management Event)とは、管理者のパソコンからク ライアントPC(本機)をリモートパワーオン機能で起動することです。

Resume On Time 本項目での設定は無効になります。

Resume Time 本項目での設定は無効になります。

Boot の設定

起動順位の設定

起動するデバイスを優先順に従ってリスト表示します。本機を起動する デバイス(ブートデバイスともいいます)を設定します。

ユーザパスワードで起動した場合、「起動順位の設定」の項目は設定でき なくなります。

設定内容	説明
Removable Devices	本機を起動するデバイスの順番を決
ATAPI CD-ROM Drive	めます。
Hard Drive	
Network Boot	

起動するデバイスを変更するには【 】 】を使用して変更したいデバイ スにカーソルをあわせます。【 + 】を押すとリストの上側に移動し、【 - 】を 押すとリストの下側に移動します。

複数のデバイスが存在する「Hard Drive」Removable Devices」につい てはさらにその中で起動するデバイスを設定することができます。 【Enter】で下位の項目を表示します。

 ◆チェック // 使用環境にあわない起動順序に変更すると正常に動作しなくなる場合があり ますので、変更には十分注意してください。



4

再セットアップ

本機に添付されている「バックアップCD-ROM」を使って、本機のシステムを工場出荷時の状態に復元する方法を説明します。 必ず「再セットアップについて」からお読みください。

この章の内容

再セットアップについて	126
システムを修復する	130
標準再セットアップする	134
カスタム再セットアップする	138



再セットアップについて

再セットアップを行うと、こわれてしまった本機のシステムを復旧する ことができます。ただし、ハードディスクに保存したファイルが消えてし まいます。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかをよ く確認してから始めてください。

再セットアップが必要になるとき

次のようなとき、本機の再セットアップが必要です。

- 1. トラブルによるシステムの復旧をするため
 - ・ 電源を入れても電源ランプは点灯するが、Windowsが動作しない。
 - ・ハードディスクの中のプログラムが正常に動作しない。
 - ・ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった。
 - ・システムの修復を行っても問題が解決できない。
 - セーフモードで起動しても問題が解決できない。
- 2. ハードディスクの設定を変更するため
 - ・ Cドライブの容量を変更したい。
 - ハードディスクを1つのパーティションにしたい。

3. Windowsの設定を変更するため

- ・ Windowsを工場出荷時の状態に戻したい。
- ・ 登録した名前や会社名を変更したい。

🗊 🕼 再セットアップ

本機のシステムがこわれてしまったときに、CD-ROMに入っているデー タをもとに、工場出荷時と同じ状態に戻す作業のことです。

ハードディスクの構成を変えるときも、ハードディスクをフォーマット (初期化)し直すとシステムが消えてしまうので、再セットアップが必要 です。 システムの修復方法には、次の3通りの方法があります。どの方法を使う かはシステムの状況により異なりますので、次の順番で簡単な方法から 試してください。

「前回正常起動時の構成を使用」メニューを使用して、システムを修復

「前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する(P.130)

ŧ

「システム修復ディスク」を使用して、システムを修復 「Windowsセットアップの修復」を使用してシステムを修復する」 (P.132)

ŧ

再セットアップを行う

使用しないアプリケーションを削除したい場合や、削除したアプリケー ションを追加したい場合は、『NEC電子マニュアル』「アプリケーションの 概要と削除/追加」をご覧ください。

再セットアップする前の注意

- データのバックアップを行ってください。
 再セットアップ方法によってはお客様が作成されたデータは再セット アップすることですべてあるいは一部消去されます。再セットアップ
 方法については「標準再セットアップとカスタム再セットアップ」
 (P.128)をご覧ください。
- 本機の設定を控えてください。
 再セットアップを行うと、ネットワークの設定などはすべて工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。
- ・必要なものを準備してください。 再セットアップの作業に入る前に、本機に添付されている、次のCD-ROMを準備してください。

「バックアップCD-ROM」

「Office 2000 Personal CD-ROM(Office 2000モデルの場合)

選択アプリケーションのあるモデルのときは、それぞれのアプリケー ションのCD-ROMも必要です。また、本機購入後に自分でインストー ルしたアプリケーションを使うときは、そのインストール用のディス クが必要です。

- ・別売の周辺装置は取り外してください。
 『はじめにお読みください』をご覧の上、本機に添付されていた機器のみを接続した状態で再セットアップを行ってください。再セットアップ後、別売の周辺機器の接続を行ってください。
- ・再セットアップは途中でやめないでください。
 再セットアップを始めたら、本書の手順通りに、最後まで行ってください。
 い。途中でやめた場合は、最初から再セットアップを行ってください。
- ・別売のアプリケーションは再セットアップ完了後にインストールを行ってください。
 別売のアプリケーションも再セットアップによってすべて消去されます。再セットアップがすべて完了してから、インストールを行ってください。

標準再セットアップとカスタム再セットアップ

再セットアップには、「標準再セットアップ」と「カスタム再セットアッ プ」の2つがあります。

メモ

ファイルシステム(NTFS、FAT32またはFAT16)についてはWindowsの ヘルプの中にあるオンライン形式の『Microsoft Windows 2000 Professionalファーストステップガイド』をご覧ください。

標準再セットアップ

内蔵ハードディスクドライブを工場出荷時と同じ状態に戻します。初心 者の方およびハードディスクについて知識のない方は、必ずこの方法で 再セットアップしてください。

参照 標準再セットアップする(P.134)

カスタム再セットアップ

Cドライブのみを再セットアップしたい、Cドライブの容量を変更したい 場合は、この方法で再セットアップしてください。

- C ドライブのみをFAT32で再セットアップする
- CドライブのみをFAT32で再セットアップします。
- Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。
- 参照 / CドライブのみをFAT32で再セットアップする(P.140)

全領域を1パーティションにして再セットアップする ハードディスクドライブの全領域を1つのパーティション(FAT32)に して再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大 にすることができます。 ハードディスクドライブの内容はすべて消えます。必ずデータのバッ クアップを行ってください。

参照 全領域を1パーティション(FAT32)にして再セットアップする(P.141)

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする (ユーザー設定による再セットアップ) ハードディスクの領域を1GB単位で3GBから自由に設定して再セット アップします。 ハードディスクドライブの内容はすべて消えます。必ずデータのパッ クアップを行ってください。

- チェック ハードディスクの記憶容量は、1MB = 1,000,000Byte、1GB = 1,000,000,000Byteで計算したときのMB、GB値を表してあります。Windowsでは、1MB = 1,048,576ByteでMB値を、1GB = 1,073,741,824Byte 値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。
 - 参照 ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(P.142)

システムを修復する

ここでは、システム構成を変更したことで、正常にシステムが起動しなくなった場合の対処方法について説明しています。

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する

システムを変更した後で、Windowsが起動できなくなった場合は、前回 正常起動時の構成を使用して、問題を解決することができます。

 ◆チェック ?? ・前回システムが正常に起動したとき以降に行った構成の変更は、すべて破 棄されます。

> ・構成変更後2回以上正常に起動した後では、その変更前の構成には戻りま せん。

前回正常起動時の構成を使用する場合は、次の手順で行います。

- **1** Windows 2000を起動する
- 2 画面に「Windows 2000の問題解決と拡張起動オプションについては、F8キーを押してください。」の文字が表示されたら、 【F8】を押す
- 3 「Windows 2000拡張オプションメニュー」が表示されたら、「前回正常起動時の構成」を選択し、【Enter】を押す「オペレーティングシステムの選択」の画面が表示された場合、 【Enter】を押してください。 「ハードウェアプロファイル/構成の回復メニュー」の画面が表示されます。 このメニューでは次のいずれかを選択できます。
 - 本機の起動時に使われるハードウェアプロファイルの選択
 - ・前回正常起動時の構成の切り替え
 - ・本機の再起動
- 4 ここでは、前回正常起動時の構成を使用して、問題を発生する 前の構成でWindows 2000を再起動するので、【L】を押し、 【Enter】を押す これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows 2000が起動し

ます。
セーフモードで起動する

セーフモードはWindowsの正常な起動を行えるようにするための、特殊 な診断モードです。以下の手順でセーフモードを起動させてください。

- **1** Windows 2000を起動する
- 2 「Windows 2000の問題解決と拡張起動オプションについて は、F8キーを押してください。」と表示されたら、【F8】を押す
- 3 セーフモードの起動オプションを選択し、【Enter】を押す
- 4 「オペレーティングシステムの選択」が表示された場合は、【】
 【 】を使って起動するオペレーティングシステムを選択し、
 【Enter】を押す
 「Windows へ ログオン、ウィンドウがまテラカを提合け、パスロー

「Windowsへログオン」ウィンドウが表示された場合は、パスワー ドを入力し、「OK」をクリックしてください。

「Windowsはセーフモードで実行されています。」と表示されます。



5 「OK」をクリック これで、パソコンはセーフモードで起動しました。

「Windowsセットアップの修復」を使用してシステムを修復する

ファイルの破損などにより、セーフモードや前回起動時の構成を使用し てもWindows 2000が正常に起動しなかった場合、「システム修復ディス ク」を使用するシステム修復や回復コンソールを使用してシステムを修 復することができます。 システム修復および、回復コンソールの詳細についてはWindows 2000

- のヘルプをご覧ください。
- ジチェック システムの修復を行う場合、「Windows 2000 セットアップディスク
 (Windows 2000 Setup Disk)」を作成しておく必要があります。1.44MB
 フォーマット済のフロッピーディスクを4枚用意してください。

「Windows 2000 セットアップディスク」の作成

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 「名前」に「C:¥BOOTDISK¥MAKEBT32.EXE A:」と入力し、 「OK」をクリック
- ♥ チェック // BOOTDISKフォルダをCドライブから移動した場合は、移動したドライブ名 に読み替えてください。

画面の指示に従って Windows 2000 セットアップディスク」の作 成を行ってください。セットアップディスクの作成が終了したら、 作成した Windows 2000 Setup Boot Disk」をフロッピーディス クドライブに挿入してください。

3 メモ帳を起動し、AドライブのTXTSETUP.SIFを開く

4 [SetupData **池クションの**SetupSourceDeviceの前のセミ コロン(;)を削除して、上書き保存する [SetupData]

; SetupSourceDevice is optional and specifies the nt device path

; of the device to be used as the setup source. This overrides ; the CD-ROM or winnt local source.

;SetupSourceDevice = ¥device¥harddisk0¥partition1

SetupSourceDevice = ¥device¥harddisk0¥partition1

 ジチェック
 ジチェック
 ジ ・
 この記述はi386フォルダのある場所を指定するものです。修復セットアップ を行う場合、i386フォルダはルートになければなりません。i386フォルダを 移動する場合は注意してください。i386フォルダをCドライブから移動した 場合は、記述を変更してください。

harddiskは、ハードディスクの番号です(0から始まります)

partitionは、パーティションの番号です(1から始まります)

ハードディスク、パーティションの番号は、「スタート」ボタン 「コントロールパネル」「管理ツール」「コンピュータの管理」「記憶域」「ディスクの 管理」で確認してください。

「システム修復/回復コンソール」の開始

- 1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに 「Windows 2000 Setup Boot Disk」をセットする
- 2 画面の指示に従って、セットアップディスクを入れ替える
- 3 「セットアップへようこそ」画面でWindows 2000をセット アップするか、Windows 2000を修復するのかを指定するよう 聞かれるので、【R】を押して修復を選択する
- 4 キーボードの選択画面になるので、画面の指示に従ってキー ボードの選択を行う
- 5 「Windows 2000修復 オプション」画面になり、回復コンソー ルかシステム修復処理かを指定するよう聞かれるので、回復コ ンソールを使用する場合は【C】を、システム修復処理を使用す る場合は【R】を押す
- **6** 画面の指示に従い、修復を行う
- ▼チェック // ・「システム修復ディスク」をパックアップ目的に使用することはできません。
 - Windows 2000のrepairフォルダ内の情報ならびに「システム修復ディ スク」の情報は、常に最新の情報になるようにしてください。最新の構成情 報がシステム修復時に反映されていないと、修復時に予期せぬエラーを引 き起こす場合があります。



標準再セットアップについて

ハードディスクドライブに対して再セットアップが行われます。

▼チェック/ 再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。(40分程度)

- 1 本機の電源を入れる
- 2 電源ランプがついたら、すぐにCD-R/RWドライブに「バック アップCD-ROM(起動用)」をセットする
- 3 次の画面が表示されたら、【Enter】を押す



4 次の画面が表示されたら、「標準再セットアップモード(強く推奨)」を選択し、[Enter]を押す



5 画面の指示に従って再セットアップを行う

「Insert next media and press enter to continue…」と表示されたら、
CD-R/RWドライブに「バックアップCD-ROM(2枚目)」をセットして、
Lenter Jを押してください。

これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

次の「Windows 2000の設定をする」へ進んでください。

Windows 2000の設定をする

ここで行う操作は、はじめて本機の電源を入れたときの操作(『はじめに お読みください』)と同じ操作です。

- **1** 「Windows 2000セットアップウィザードの開始」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック
- 2 「ライセンス契約」の画面を確認する ▼をクリックすると、「契約書」の下の方を読むことができます。
- 3 「同意します」をクリックし、「次へ」をクリック (同意しない場合セットアップは続行できません)

- 4 「ソフトウェアの個人用設定」の画面が表示されたら、キーボードを使って名前と組織名を入力し、「次へ」をクリック名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。ここで入力した名前、組織名は再セットアップが完了した後には変更できません。変更するには、再セットアップが必要です。
- 5 「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」の画面が表示 されたら、コンピュータ名および、パスワードを入力し、「次へ」 をクリック
- 6 「Windows 2000セットアップウィザードの完了」の画面が表示されたら、「完了」をクリック 自動的に再起動します。
- 7 再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」の画面が表示 された場合は、「キャンセル」をクリック
- 8 「Windowsへのログオン」の画面が表示された場合は、手順5で 設定したパスワードを入力し、「OK」をクリック 途中で何度か画面が変わり、次の画面が表示されるまでしばらく お待ちください。
- 9 「Windows 2000の紹介」の画面が表示されたら、「スタート アップ時にこの画面を表示」の左の▼をクリックして□にする
- 10 「終了」をクリック
- 11 「スタート」ボタン 「ValueStarを使う準備をします」をク リック
- 12 「OK」をクリック Windowsが再起動します。

アプリケーションを再セットアップする

各アプリケーションを再セットアップしてください。 再セットアップ方法は『NEC電子マニュアル』「アプリケーションの概要 と削除/追加」の「追加」をご覧ください。 購入後に行った設定をやり直す

購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなります。再 度、設定し直してください。別売の周辺機器がある場合は接続して設定し 直してください。ネットワークの設定なども再設定してください。また、 別売のアプリケーションをインストールしていた場合もインストールし 直してください。

カスタム再セットアップする

カスタム再セットアップについて

Cドライブのみを再セットアップしたい、Cドライブの容量を変更した い、またはDドライブ以降のデータを残しておきたい場合は、次の手順で 再セットアップしてください。

- チェック
 // 再セットアップにかかる時間は再セットアップ方法、またはモデルによって
 異なります。(40分程度)
 - 1 本機の電源を入れる
 - 2 電源ランプがついたら、すぐにCD-R/RWドライブに「バック アップCD-ROM(起動用)」をセットする
 - 3 次の画面が表示されたら、【Enter】を押す



4 次の画面が表示されたら、「カスタム再セットアップモード」を 選択し、[Enter]を押す



以降の操作は、「標準再セットアップとカスタム再セットアップ」の「カス タム再セットアップ」(P.129)で選択されたカスタム再セットアップ方法 の操作を行ってください。

CドライブのみをFAT32で再セットアップする

C**ドライブのみを**FAT32で再セットアップします。 Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができ ます。

- **1** 「カスタム再セットアップについて」の手順1~4を行う(P.138)
- 2 次の画面が表示されたら、「CドライブのみをFAT32で再セット アップ」を選択し、[Enter]を押す

₩indows 2000 再セットアップ
> C ドライブのみを FAT32 で再セットアップ <
全領域を1パーティション(FAT32)にして再セットアップ
ユーザー設定による再セットアップ
再セットアップモード選択画面に戻る
《説明》 再セットアップする方法を選択してください。
● 再セットアップを開始する場合は、矢印キー(↑・↓)で 再セットアップ方法 を選択して Enter キーを押してください。 (● 再セットアップを中断する場合は、F3 キーを押してください)

3 「CドライブにWindows 2000(FAT32)を再セットアップしま す。よろしいですか?」と表示されたら、「はい」を選択し、 【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

● チェック パ Insert next media and press enter to continue...」と表示されたら、
 CD-R/RW ドライブに「バックアップCD-ROM(2枚目)」をセットして、
 【Enter】を押してください。

「Windows 2000 セットアップウィザードの開始」の画面が表示された ら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。 「標準再セットアップする」の「Windows 2000の設定をする(P.135)へ 進んで、その後の操作を行ってください。

全領域を1パーティション(FAT32)にして再セットアップする

ハードディスクドライブ(プライマリマスタ)の全領域を1つのパーティ ション(FAT32)にして再セットアップします。Cドライブのハードディ スク容量を最大にすることができます。

ハードディスクドライブの内容はすべて消えます。必ずデータのバック アップを行ってください。

- 1 「カスタム再セットアップについて」の手順1~4を行う(P.138)
- 2 次の画面が表示されたら、「全領域を1パーティション(FAT32) にして再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

Windows 2000 再セットアップ
> CドライブのみをFAT32で再セットアップ < 全領域を1パーティション(FAT32)にして再セットアップ ユーザー設定による再セットアップ 再セットアップモード選択画面に戻る
再ビットアップを開始する場合は、矢印キー(↑・↓)で再セットアップ方法 を選択してEnterキーを押してください。 (●再セットアップを中断する場合は、F3キーを押してください)

3 「ハードディスクの全領域をフォーマットしてWindows 2000 を再セットアップします。よろしいですか?」と表示されたら、 「はい」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

、 チェック? 「Insert next media and press enter to continue...」と表示されたら、 CD-R/RWドライブに「バックアップCD-ROM(2枚目)」をセットして、 【Enter】を押してください。

> 「Windows 2000セットアップウィザードの開始」の画面が表示されたら、 これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。 「標準再セットアップする」の「Windows 2000の設定をする(P.135)へ 進んで、その後の操作を行ってください。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする

ハードディスクの領域を3.0GB以上、1.0GB単位で自由に設定して再セットアップします。

ハードディスクの内容はすべて消えます。必ずデータのバックアップを 行ってください。

- 1 「カスタム再セットアップについて」の手順1~4を行う(P.138)
- 2 次の画面が表示されたら、「ユーザー設定による再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

<u>₩indows 2000 再セットアップ</u>
S C ドライブのみをFAT92で再セットアップ く 全領域を1パーティション(FAT32)にして再セットアップ ユーザー設定による再セットアップ 再セットアップモード選択画面に戻る
《説明》 再セットアップする方法を選択してください。
●再セットアップを開始する場合は、矢印キー(↑・↓)で再セットアップ方法 を選択してEnter キーを押してください。 (●再セットアップを中断する場合は、F3 キーを押してください)

- 3 「CドライブのサイズをGB単位(FAT32)で指定できます。」と表示されたら、テンキーを使用して確保したいCドライブの容量を入力して、【Enter】を押す
- チェック? ハードディスクの記憶容量は、1MB = 1,000,000Byte、1GB = 1,000,000,000Byte
 で計算したときのMB、GB値を表してあります。Windowsでは、1MB = 1,048,576ByteでMB値を、1GB = 1,073,741,824Byte値を計算していますので、指定した値よりも小さな値で表示されます。

4 「この設定でよろしければF8キーを押してください。」と表示されたら、指定した値が表示されていることを確認して、【F8】を押すこれ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

ジチェック?/「Insert next media and press enter to continue...」と表示されたら、 CD-R/RWドライブに「バックアップCD-ROM(2枚目)」をセットして、 【Enter】を押してください。

「Windows 2000セットアップウィザードの開始」の画面が表示されたら、 これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「標準再セットアップする」の Windows 2000の設定をする (P.135)へ 進んで、その後の操作を行ってください。



トラブル解決Q&A

パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたときの解決方法について 説明します。

また、このパソコンに登録されている「スタート」ボタン 「NEC電子マ ニュアル」「NEC電子マニュアル」の「トラブル解決Q&A」もあわせてご 覧ください。

この章の内容

お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)	146
パソコンが動かない	148
パソコンがこわれそう	151
はじめて電源を入れたら	152
電源を入れたが/切ろうとしたが	153
キーボードを使っていたら	161
マウスを動かしても	163
パスワードを入力しようとしたら	164
コンピュータウイルスが発見されたら	166
アフターケアについて	168

お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)

お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの構成やトラブルの具体的な状況をお知らせいただく必要があります。

あらかじめ、このシートの各項目にご記入いただくと、お問い合わせの際 により的確で迅速な対応を受ける助けになります。ぜひ、ご利用くださ い。

本体	
型名(保証書に記載されています)
製造番号 (保証書番号)	
メモリの容量	
ハードディスク(Cドライブ)の容	BC(ギガバイト)
ハードディスク(Cドライブ)の空き領域	a MB (メガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を 表示されたメニューの「プロパティ	調べるには マイコンピュータのハードディスクのアイコンを右クリックし 」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。
周辺機器	品名・型名(メーカー名)
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
その他の周辺機器	
ソフトウェア	
0S のバージョン	
Windows 2000	Windows Me
	前していたマプリケーション

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容
どんなトラブルが起きましたか? トラブルの内容を書いてください。
一両方にてこ リット ジルぞりやはがまこさやません ストもかつ
回面にエフーメッセーシャ留ちなこか表示されませんでしたか? メッセージや番号を書いてください。
そのトラブルはどんなときに記念ましたか?
イソコンを起動するために起さる そのアプリケーションを起動する
たびに起きる
特定の操作を行うと起きる
はじめて起きた
その他に気付いたことがあれば書いてください。



パソコンが動かない



急に動かなくなった

Windowsやアプリケーションに何らかの異常が起きていることが考え られます。「電源を入れたが/切ろうとしたが」の「電源が切れない。強制的 に電源を切りたい」にある「異常が起きているアプリケーションを終了さ せる方法(P.159)以降をご覧ください。

◆チェック パ・頻繁に強制終了を行うとハードディスクが故障することがあります。
 ・ 強制終了を行うと直後の再起動時にチェックディスクが自動的に起動します。



パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面が まっくらになる

電源スイッチを押すと、「NEC」ロゴが表示された後、画面がまっくらになるときは、次の手順に従ってください。

セーフモードで起動する

パソコン本体またはキーボードの電源スイッチを約4秒以上押して、いったん電源を切ってから、「セーフモードで起動したい(P.149)をご覧になり、セーフモードでWindows 2000を起動してください。 セーフモードでWindows 2000が起動しない場合は、次の「「Windows 2000拡張オプションメニュー」で起動する」に進んでください。

「Windows 2000 拡張オプションメニュー」で起動する

- 1 電源ランプがついているときは、パソコン本体の電源スイッチ を約4秒以上押して、いったん電源を切る
- 2 5秒以上たってから、パソコン本体の電源を入れる
- **3** NECロゴが表示されたら、「Windows 2000拡張オプションメ ニュー」が表示されるまで【F8】を数回押す

- **4** 【 】【 】を使って「セーフモードとコマンドプロンプト」を選択し、【Enter】を押す
- 5 「オペレーティングシステムの選択」が表示された場合は、【】
 【 】を使って起動するオペレーティングシステムを選択し、
 【Enter】を押す
- 6 「Windowsヘログオン」ウィンドウが表示された場合は、パス ワードを入力し、「OK」をクリック
- 7 キーボードで次のように入力する 【CIHIKIDISIKIEnter】 チェックディスクが実行され、ハードディスクのチェックがはじまります。 エラーが発見されたときは、メッセージが表示されますので、修復を実行してください。破損したファイルの修復のために「ファイルを変換する」などを選択します。
- 8 チェックが終了したらパソコン本体の電源スイッチを押して 電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度電源スイッチを押し て電源を入れる



- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 NECロゴが表示されたら、「Windows 2000拡張オプションメ ニュー」が表示されるまで【F8】を数回押す
- 3 【 】【 】を使って「セーフモード」を選択し、【Enter】を押す
- イ 「オペレーティングシステムの選択」が表示された場合は、【 】
 【 】を使って起動するオペレーティングシステムを選択し、 【Enter】を押す
 「Windowsヘログオン」ウィンドウが表示された場合は、パスワードを入力し、「OK」をクリックしてください。

「Windowsはセーフモードで実行されています。」と表示されます。



- 5 「OK」をクリック これで、パソコンはセーフモードで起動しました。
- ジチェック / セーフモードで起動した後、「スタート」メニューから「シャットダウン」をク リックして、「再起動」を選択して「OK」をクリックし、再起動して問題がなけ れば、正常な状態に戻ります。

トラブルを解決したいときは、さらに、次の手順でチェックディスクを実行します。

セーフモードでのチェックディスクの実行

- 1 「エラーチェックの操作手順(P.36)にしたがって、チェック ディスクを実行する
- 2 チェックディスクが終了したら、「スタート」ボタン「シャット ダウン」をクリック
- 3 「再起動」を選択して「OK」をクリック 本機が再起動します。
- チェック ディスクを行っても本機が起動しなかったり、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、再セットアップ(P.125)を行ってください。





パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手で 触れないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生 じた

すぐ電源を切って、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜き、ご 購入元、またはNECにお問い合わせください。

参照 NEC のお問い合わせ先 『121 ware ガイドブック』

◆チェック! 本機を安全に使用するための注意事項を『はじめにお読みください』に記載しています。本機をお使いになるときは、必ず注意事項を守ってください。

🖗 📀 パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態で何も作業をしていないときに、ハード ディスクが勝手に動作することがあります。これはパソコンが自動的に データの保存などの作業をしているためであり、問題はありません。 ただし、ハードディスクの空き容量が少ないときや、ハードディスク上の データの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、 ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このよう なときはディスクデフラグやディスククリーンアップを実行してください。

それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、ご購入元、またはNECにお問い合わせください。

参照 NEC のお問い合わせ先 『121 ware ガイドブック』

メモ

データの断片化とは、データがハードディスクの空いているところに、 バラバラに保存される状態をいいます。



はじめて電源を入れたら

買ってきて、はじめてパソコンを使うときは、まず、設定などの作業が必 要です。

参照/『はじめにお読みください』



▶ セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

5秒以上たってから電源を入れ直してください。「Windows 2000セット アップウィザードの開始」の画面が表示されたら、『はじめにお読みくだ さい』をご覧になり、そのままセットアップを続けてください。電源を入 れても「Windows 2000セットアップウィザードの開始」の画面が表示さ れないときは、システムが壊れている可能性があります。「PART4 再 セットアップ(P.125)をご覧になり、再セットアップするか、ご購入元に 相談してください。前者の場合、名前など最初のセットアップ時に入力し た内容は消えてしまいますので、再度入力してください。

参照 再セットアップ 「PART4 再セットアップ(P.125)



ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

Windows 2000のセットアップでは、正常に処理が行われていても、数分 ~十数分間、画面が止まったようになることがあります。画面が止まった ように見えてもすぐに電源を切らないでください。

十数分待っても画面の表示が変わらないときや、十数分間ハードディス クアクセスランプが点滅しないときは、電源スイッチを約4秒以上押し続 けて強制的に電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度、電源スイッチを 押して、電源を入れます。再起動後、前述の「セットアップの途中で、誤っ て電源を切ってしまった」と同じ手順で操作してください。



電源を入れたが/切ろうとしたが

電源を入れたとき、電源を切ったときにトラブルになったらこちらをご 覧ください。

🚱 📀 ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイの電源ランプが点灯していないとき

ディスプレイのケーブル、パソコン本体の電源ケーブルは正しく 接続されていますか?

『はじめにお読みください』、ディスプレイのマニュアルをご覧になり、パソ コンを接続し直してください。

パソコンを正しく接続し直して、パソコン本体の電源を入れても、ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、またはNECにお問い合わせください。

- ジチェック パソコンの電源が入っているときは、ディスプレイとパソコン本体を接続するケーブルの抜き差しは行わないでください。
 - 参照 NEC のお問い合わせ先 『121 ware ガイドブック』

パソコン起動後にディスプレイの接続を行っていませんか? パソコン起動後にディスプレイを接続しても、ディスプレイには何も表示されない場合があります。このような場合は、「強制的に電源を切る方法(P.159)で、パソコン本体の電源をいったん切り、電源スイッチを押してパソコンを起動してください。

ディスプレイの電源ランプが緑色に点灯しているとき (別売のディスプレイでは、異なる場合があります)

ディスプレイの輝度(明るさ)が、小さくなっていませんか? ディスプレイのマニュアルをご覧になって、画面の輝度を調節してくだ さい。 これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、

これらのチェックを行ってもチィスフレイに何も表示されないとされ、 本体やディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、またはNECにお問 い合わせください。

参照 NEC のお問い合わせ先 『121 ware ガイドブック』



◆ ◆ 電源を入れてしばらくすると、画面がまっくらになる

パソコン本体とディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点 灯しているとき

(別売のディスプレイでは、異なる場合があります)

マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキー()を押してく ださい。画面が表示されますか?

【スリープ】ボタン、ワンタッチスタートボタン、CD/DVDプレーヤボタン、ボリュー ムボタンを除く

画面が表示されたときは、パソコン本体の省電力機能が働いてスタンパ イ状態になったと考えられます。

- チェック / 電源が入っているとき(スタンバイ状態のときも含まれます)に、約4秒以上 電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してくだ さい。スタンバイ状態のときに強制的に電源を切ると元の状態に復帰できな くなります。
 - 参照/省電力機能について「PART1 本体の構成各部」電源」

本体の電源ランプが緑色に点灯、ディスプレイの電源ランプ がオレンジ色に点灯しているとき (別売のディスプレイでは、異なる場合があります)

ディスプレイの省電力機能が働いたものと考えられます。 マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキー()を押してください。

【スリープ】ボタン、ワンタッチスタートボタン、CD/DVDプレーヤボタン、ボリュー ムボタンを除く

電源ランプが消えているとき

キーボードまたはパソコン本体の電源スイッチを押してください。画面が表示されますか?

画面が表示されるときは、パソコン本体の省電力機能が働いて休止状態 になったと考えられます。本機は、購入時には約20分間何も操作しないと 本体の省電力機能が働いて休止状態になるように設定されています。

▼チェック 停電のときも、電源ランプは消えています。

Windows 2000拡張オプションメニュー」が表示され、「セーフ モード」が反転表示された

次の手順でWindows 2000をセーフモードで起動します。

- ▼チェック// セーフモードでは、最小限の機能しか使えません。
 - 1 「セーフモード」が反転しているのを確認して、【Enter】を押す
 - オペレーティングシステムの選択」が表示された場合は、【】
 【】を使って起動するオペレーティングシステムを選択して、 【Enter】を押す
 「Windowsヘログオン」ウィンドウが表示された場合は、パスワードを入力して「OK」をクリックしてください」。
 - 3 しばらくして、表示された画面で OK」をクリックする Windows 2000がセーフモードで起動します。

セーフモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常と は異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。 「スタート」メニューの「シャットダウン」から「再起動」を選択して「OK」 をクリックし、再起動して問題がなければ、元の状態に戻ります。 セーフモードで起動し、チェックディスクを実行後、再起動しても問題が 解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性がありま す。その場合は、再セットアップを行ってください。

参照 再セットアップ 「PART4 再セットアップ(P.125)

5



「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブに エラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にチェック ディスクがはじまった

ハードディスクに異常がなければ、Windows 2000が起動します。正常に 起動しなかったときは、画面の指示に従ってください。画面の指示もな く、正常に起動しないときは、再セットアップしてください。

参照 / 再セットアップ 「PART4 再セットアップ(P.125)



🂫 🏟 🔹 「Invalid system disk 」と表示される

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされてい るとき フロッピーディスクを取り出してから、何かキー(【Enter】キーなど)を 押してください。ハードディスクからWindows 2000が起動します。 フロッピーディスクから起動したいときは、このパソコンに対応した

システムの入ったフロッピーディスクと入れかえてから、電源を入れ 直してください。

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされてい ないとき

ハードディスクがフォーマットされたか、システムがこわれていて起 動できない状態です。「PART4 再セットアップ(P.125)をご覧の上、 再セットアップしてください。

メモ

Windows 2000, Windows Me, またはWindows 98でフォーマットした だけでシステムが入っていないフロッピーディスクがセットされていた り、フォーマットされただけのハードディスクが接続されていると、この ようなメッセージが表示されます。

参照 再セットアップ 「PART4 再セットアップ(P.125)



「Please Insert Another Disk....」と表示される

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っていま せんか? フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、パ ソコンを再起動してください。 ハードディスクからWindows 2000が起動します。



「Operating System not found」と表示される フロッピーディスクドライブに、本機では使えないフロッピーディスク がセットされています。 フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、再 起動してください。



「Non-system disk or disk error」と表示される

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされ ていませんか?

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、何 かキーを押してください。

ハードディスクからWindows 2000が起動します。

フロッピーディスクから起動したい場合は、このパソコンに対応したシ ステムの入ったフロッピーディスクをセットして、何かキーを押してく ださい。

×E

MS-DOSでフォーマットしたフロッピーディスクをセットしていると、 このようなエラーメッセージが表示されます。



パソコンの使用環境を変更したら、Windows 2000が起動しない BIOSセットアップメニューで、パソコンの使用環境を変更して、このような状態になったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してから、再起動してください。

- 1 別売の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、購入時の状態に戻す
- 2 パソコン本体の電源を入れる 「NEC」のロゴが表示されます。
- 3 【F2】を押す キーの説明が表示されます。
- - **4** 【F9】を押す 「セットアップ確認の画面が表示されます。
 - 5 「Yes」が選択されていることを確認して[Enter]を押す システムの設定が初期値に戻ります。

♥ チェック!「BIOSセットアップメニュー」で設定したパスワードは、初期値に戻りません。

- 6 【F10】を押す
 「セットアップ確認」の画面が表示されます。
- 7 「Yes」が選択されていることを確認して[Enter]を押す システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。
- ◆ ◆ ◆ 電源が切れない。強制的に電源を切りたい

正しい電源の切り方

◆チェック ??
 「 電話回線を使うアプリケーションを起動しているときは、終了させてから電源を切ってください。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「シャットダウン」をクリック 「Windowsのシャットダウン」ウィンドウが表示されます。 2 ▼をクリックして「シャットダウン」を選択して、「OK」をクリック

しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、アプリケーションに異常が起きてい ると考えられます。次の 異常が起きているアプリケーションを終了させ る方法」をご覧ください。

異常が起きているアプリケーションを終了させる方法

- 1 【Ctrl 】と【Alt 】を押しながら【Delete 】を1回押す 「Windowsのセキュリティ」ウィンドウが表示されます。
- ♥ チェック
 パ 「Windowsのセキュリティ」ウィンドウが表示されるまで時間がかかる場合
 があります。表示されない場合は、しばらくお待ちください。
 - 2 「タスクマネージャ」をクリック 「Windowsタスクマネージャ」が表示されます。
 - 3 「アプリケーション」タブをクリックし、「状態」に「応答なし」と 表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、 「タスクの終了」をクリック

この方法で異常を起こしていたアプリケーションが終了できた場合は、 「正しい電源の切り方(P.158)に従って、電源を切ってください。

▼チェック! アプリケーションで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

この方法でアプリケーションが終了できなかったり、終了できても、「正しい電源の切り方(P.158)で電源が切れないときは、次の強制的に電源を切る方法」をご覧ください。

強制的に電源を切る方法

1 パソコンの電源スイッチを約4秒以上押し続ける パソコンの電源が切れます。

- 2 しばらく(5秒以上)たってから、電源スイッチを押す パソコンの電源が入り、場合によっては、チェックディスクが自動 的に始まり、ハードディスクがチェックされます。 チェックディスクで異常が発見されなかったときや、チェック ディスクが実行されなかったときは、そのままWindowsが起動し ます。
- チェック??・チェックディスクの結果、何かメッセージが表示された場合は、メッセージに従ってください。
 うまく起動できなかった場合は、再セットアップが必要になります。
 「PART4 再セットアップ(P.125)をご覧になり、再セットアップしてください。
 - ・再セットアップを行うと購入後に保存したファイルやインストールした アプリケーションは復元されません。大切なデータは必ずバックアップを 取ってから再セットアップしてください。
 - 3 「スタート」ボタンをクリックして、「シャットダウン」をクリック 「Windowsのシャットダウン」ウィンドウが表示されます。
 - 4 ▼をクリックして「シャットダウン」を選んで、「OK」をクリック

パソコンの電源が切れます。

再セットアップをしてもトラブルが解決しない場合は121wareガイド ブック』をご覧になり、各問い合わせ窓口にお問い合わせください。



キーボードを使っていたら

漢字やひらがななど、日本語の文字を入力するときは、【半角/全角/漢字】 を押して、日本語入力をオンにします。

参照 キーボードの設定を変えるには「PART1 本体の構成各部」の「キーボー ド(P.19)



キーボードのキーを押しても、何も反応しない

マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか?

砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラ ムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。 処理が終わるまで待ってください。

キーボードと本体の接続を確認してください。

『はじめにお読みください』をご覧になり、キーボードと本体を接続し直 してください。

キーボードのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと奥まで差し込まれていないとキーボードの操作はできません。

しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思わ れます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了して ください。

アプリケーションの強制終了ができない場合は、電源スイッチを4秒以上 押し続けて強制的に電源を切ってください。このとき、保存していなかっ たデータはなくなります。

次に、キーボードと本体の接続を確認してください。

参照 / プログラムの強制終了の方法 「電源を入れたが/切ろうとしたが(P.159)



CD/DVDプレーヤボタン、ワンタッチスタートボタンが機能し ない

MS-DOSモード、Windowsのセーフモードになっていませんか?

Windowsのセーフモードなど、Windowsのキーボードドライバが動作しない状態では、CD/DVDプレーヤボタン、ボリュームボタン、ワンタッチスタートボタン、【スリープ】ボタンの機能は使えません。



マウスを動かしても

正常な状態では、マウスを動かすと、画面のマウスポインタが移動しま す。マウスポインタは↓↔ ↓ 図など、マウスポインタの位置やパソコン の動作状態によって形を変えることがあります。

参照/ マウスの設定を変えるには Windowsヘルプ



マウスを動かしても、何も反応しない

マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか?

1	
N ² 2	
300	
×	
1.4.1	
_	

砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラ ムの処理をしているので、マウスの操作は受け付けられません。処理が終 わるまで待ってください。

マウスと本体の接続を確認してください。

『はじめにお読みください』をご覧になり、マウスとキーボードと本体を 接続し直してください。マウスのコネクタが本体から抜けていたり、きち んと差し込まれていないとマウスの操作はできません。

しばらく待っても、マウスの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。保存していないデータはなくなります。

参照 プログラムの強制終了の方法 「電源を入れたが/切ろうとしたが(P.159)

パスワードを入力しようとしたら

パスワードを入力してもWindowsにログオンできない場合や、パスワー ドを忘れてしまった場合は、ここをご覧ください。



パスワードを入力すると「ログオンできません。ユーザー名とログ オン先を確認して、もう一度パスワードを入力してください。パス ワードでは大文字と小文字が区別されます。」と表示される

キーボードの(品)(キャップスロックキーランプ)が点灯していま せんか?

点灯しているときは大文字入力になりますので、【Shift】キーを押しなが ら、【CapsLock】キーを押して、キャップスロックを解除してから、パス ワードを入力し直してください。



🔈 🏟 📣 パスワードを忘れてしまった

Windows 2000のログオン時のパスワードを忘れてしまったとき

Administrator以外の権限を持つユーザのパスワードを忘れてし まった場合

Administrator権限を持つユーザのパスワードでログオンして、「コ ントロールパネル」の「ユーザーとパスワード」で忘れてしまった ユーザのパスワードを再設定してください。

Administrator権限を持つユーザのパスワードを忘れてしまった場合 ほかのAdministrator権限を持つユーザのパスワードでログオンし て、パスワードを再設定してください。Administrator権限を持つ ユーザのパスワードをすべて忘れてしまった場合は、再セットアッ プをする必要があります。

Sチェック! Administrator以外の権限を持つユーザでログオンしてもWindowsは使え ますが、設定のほとんどは変更できなくなります。

メモ

Windows 2000のパスワードは、ユーザの区別や管理、制限するときなど に設定します。

参照 再セットアップ 「PART4 再セットアップ(P.125)

ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき 本書の「PART2 周辺機器を利用する」の「ストラップスイッチの設 定(P.100)をご覧になり、パスワードの設定を解除して設定し直し てください。



コンピュータウイルスが発見されたら

VirusScanなどによってコンピュータウイルスに感染したファイルが検 出されたら、すぐにウイルスを駆除し、被害を届け出てください。

Sチェック! VirusScanは購入時の状態ではインストールされていません。お使いになる 場合は「スタート」ボタン「NEC電子マニュアル」「NEC電子マニュアル」 「アプリケーションの追加と削除」の「VirusScan Ver4.5」を参照して VirusScan Education

ウイルスを駆除する

ウイルスを駆除するには、ウイルスが感染したファイルを削除するの が最も確実です。アプリケーションのファイルであれば、削除してイン ストールし直してください。バックアップがあるファイルは、削除した 後、コピーし直してください。バックアップファイルも感染している可 能性があるので、ウイルス検査をしてください。

削除できないファイルの場合は、「VirusScan」などのウイルス除去機 能があるソフトウェアでそのファイルのウイルスを除去してくださ い。さらに、2次感染を防ぐため、使っていたハードディスク、フロッ ピーディスク、CD-R、CD-RW、MO(光磁気ディスク)などはすべてウ イルス検査をしてください。

ウイルスでパソコンが正常に動作しなくなったとき コンピュータウイルスが原因で、パソコンがうまく起動しなかったり、 起動しても動作がおかしいときは、「コマンドライン版VirusScan」を 利用してウイルスをチェックします。

●チェック // ウイルスデータが古くなったことを警告するメッセージが表示されることが あります。「コマンドライン版VirusScan」には2000年8月現在のものが入っ ています。そのため、新しく出現したウイルスは検出できません。

「コマンドライン版VirusScan の利用方法

- 1 電源スイッチを入れ、すぐにCD-R/RW ドライブに「バックアッ プCD-ROM(起動用)」をセットする CD-R/RW ドライブからパソコンが起動します。
- S チェック! 「バックアップCD-ROM(起動用)」のセットが遅くて、CD-R/RWドライブか ら起動しなかった場合は、「バックアップCD-ROM(起動用)」をセットしたま まパソコンを再起動してください。
- 2 ・「再セットアップについて」の画面が表示された場合 【F3】を押す
 - ・「再セットアップが中断されました。」と表示された場合
 【F10】を押す
 「A:¥」と表示されます。

3 次のように入力する

Q:[Enter] CD SCAN[Enter] SCAN C:/ALL/CLEAN[Enter] C**ドライブのウイルスの検査が始まり、ウイルスが駆除されます。**

◆チェック // すべてのドライブを検査し、ウイルスを駆除する場合は、次のように入力して ください。
SCAN/ADL/ALL/CLEAN/Fester】

SCAN/ADL/ALL/CLEAN[Enter]

検査結果を届け出る

日本では、コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人に関わらず、 次の届け出先に届けることが義務づけられています(平成7年7月7日付 通商産業省告示第429号)。届け出をしなくても罰則の規定はありませ んが、被害対策のための貴重な情報になるので積極的に報告してくだ さい。

届け出先

情報処理振興事業協会(通称IPA) レキュリティセンターウイルス対策室 本部 〒113-6591 東京都文京区本駒込2丁目28番8号

文京グリーンコート センターオフィス16階

- 電話 03-5978-7509
- FAX 03-5978-7518
- ホームページアドレス http://www.ipa.go.jp/



アフターケアについて



保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、または 『121wareガイドブック』の「レスキューサービス」に記載のNECフィール ディング各支店・営業所で承っております。お問い合わせ窓口やお問い合 わせの方法など、詳しくは『121wareガイドブック』をご覧ください。 本機に添付されているアプリケーションに関するお問い合わせは、添付 の『ソフトウェア使用条件適用一覧』に記載されている「添付ソフトウェ アサポート窓口一覧」をご覧になり、各社へお問い合わせください。

また、本機と別に購入した周辺機器やメモリ、アプリケーションに関する お問い合わせは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。



消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次の通りです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数によ	フロッピーディスク
	り消耗し、一般的には再生が不可	CD-ROM
	能なもので、お客様ご自信で購入	
	し、交換していただくものです。保	
	証期間内であっても、有料です。	
消耗部品	使用頻度あるいは経過年数により	CRT ディスプレイ(プラ
(有償交換部品)	消耗、摩耗または劣化し、修理再	ウン管), CPU のファン 、
	生が不可能な部分です。 NEC フィー	ハードディスクドライブ、
	ルディングの各支店・営業所など	キーボード、マウス、
	で交換し、お客さまに部品代を請	CD-R/RW ドライブな
	求するものです。保証期間内であっ	ど、フロッピーディスク
	ても有料の場合があります。	ドライブ、電源ユニット

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。



添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものについては、修復または再入手が可能です(有料)。

- ・フロッピーディスク
- CD-ROM

・ NEC**製のマニュアル**

フロッピーディスクの修復、CD-ROMの再入手についてのお問い合わせ 先は、添付の『121wareガイドブック』をご覧ください。



本製品の譲渡/廃棄について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。 また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きに従って、お客様登録を 行ってください。

譲渡するお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)する場合は、以下の条件を満たす必要があ ります。

本機に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと

各ソフトウェアに添付されている"ソフトウェアのご使用条件』の 譲渡、移転に関する条件を満たすこと

譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した 後、譲渡すること(本機に添付されている『ソフトウェア使用条件 適用一覧』をご覧ください)

- チェック パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第
 三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除すること
 をおすすめします。
 - ・登録されている製品を第三者に譲渡(売却)する場合は、121ware(ワントゥワンウェア)登録センター(TEL:042-333-1121)までご連絡の上、必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けられるお客様へ

お客様登録(ユーザ登録)に必要な下記の事項を記入し、お手数ですが官 製八ガキまたは封書でお送りください。

ご連絡いただいたお客様へは、随時、展示会、イベント、キャンペーンセミ ナーなどのご案内や、ソフトメーカ様からの新作ソフトの紹介などをお 送りいたします。

記載内容

本体型番および保証書番号(本体背面に記載の型番および製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の 「Serial No. (いずれのソフトも同一)

「Serial No.」がない場合は不要です。

以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入 されたお店の名称、住所、電話番号

あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒183-8501 東京都府中市日新町1-10(NEC府中事業場)

121ware 登録センター行

(旧980FFICIAL PASS登録センター)

本機を廃棄するには

本機を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳 しくは、各地方自治体にお問い合わせください。







本体機能仕様

刑:	z		VM15008/57E		
型番			PC-VM15008557E		
±1	#)		Pentium®4プロセッサ(1.5GHz)		
2/1	マテムパ	7	400MHz(XŦUUZ:800MHz)		
// ±1		^ 1 ½7			
		27			
BIUS RUM(Flash RUM)		FIASII KOW)			
~					
	取入	A.M.	4 描訳RAM9 ジルードにより描訳引能(取入512MD) RIMMスロッド×4(内2スロッドに64MDのメモリを美表/月の)]		
			32MB		
+	シリノリシリシリビノレータ		NVIDIA … 社製 GeForce2 GIS(AGP 2X/4Xモート対応)		
衣示					
機能	640	×480F9F	取入1,0/7万巴		
ĦË	800×600ドット		最大1,677万巴 		
	1,02	4×768F9F	最大1,677万色		
	1,28	0×1,024F9F			
サウ	音源		PCM録音冉生機能:ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンフリングレート8~48KHz、全二重対応		
シド			(モノラル、量子化8ビット時)		
機	サラウンド機能		エンハンストステレオ		
甩	スピーナ]	外付けステレオスピーカ		
入	キーボード		USBコネクタに接続、JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト準拠、スリーブボタン、ワンタッチスタートボタン、		
装置			CDブレーヤボタン、ボリュームボタン、テンキー・12ファンクションキー付き、USBバスパワードハブ(2ボート)付き ²³		
■ マウス USBコネクタに接続(添付のキーボードにあるUSBコネクタに接続)、スクロール様		USBコネクタに接続(添付のキーボードにあるUSBコネクタに接続)、スクロール機能付き			
補助	フロッピ-	・ディスクドライブ	3.5型フロッピーディスクドライブ(720KB/1.2MB/1.44MB)×1 4		
記	固定ディスクドライブ 5		内蔵(約60GB ⁶)Ultra ATA-100対応、7,200rpm		
愿装	CD-R/RWドライブ		CD-R/RW内蔵 ⁷ 読込み:最大32倍速(CD-ROM)		
置	書込み:最大8倍速(CD-R)、最大4倍速(CD-RW)		書込み:最大8倍速(CD-R),最大4倍速(CD-RW)		
	USB ²	2	5 ⁸ (本体×3、キーボード×2 ³ 、コネクタ4ピン)		
	パラレノ		1(D-sub25ピン)		
イン	シリアル	,	2(D-sub9ピン)		
9	ディスフ	'レイ	1(ミニD-sub15ピン)		
1	PS/2		2(ミニDIN6ピン)		
エイ	FAXE	デム	2(LINE、TELEPHONE)、モジュラコネクタ		
え	LAN		1(100BASE-TX/10BASE-T)、RJ45コネクタ		
	サウンド	関連	ライン入力(ステレオ、ミニジャック)、ライン出力(ステレオ、ミニジャック)、ヘッドホン出力(ステレオ、		
			ミニジャック)[添付の外付けスピーカにあり]、マイク入力(モノラル、ミニジャック)		
通	言機能	FAXモデム	データ通信:最大56Kbps ⁹ (K56flex [™] 、V.90対応)/FAX通信:最大14.4Kbps(V.17)、Resume On Ring機能対応		
		LAN	100BASE-TX/10BASE-T		
5酉	^型ベイ		2スロット(CD-R/RWドライプで1スロット占有済み)[空きスロット1]		
3.5型ベイ			2スロット(FDDで1スロット占有済み)[空きスロット1]		
内蔵3.5型ベイ		ペイ	3スロット(HDDで1スロット占有済み)[空きスロット2]		

型名			VM1500S/57E	
型현	番		PC-VM1500S57E	
拡張スロット		PCIスロット	4スロット(フル×2、ハーフ×2),(LANボードで1スロット占有済み)[空きスロット3(フル×1、ハーフ×2)]	
		AGPスロット	1スロット(アクセラレータボードで占有済み)[空きスロット0]	
電源			AC100V±10%、50/60Hz	
消費電力(本体標準構成時)		体標準構成時)	約72W(最大269W)	
I	ネルギー	消費効率	R区分 0.022	
温	湿度条件		10~35 、20~80%(ただし結露しないこと)	
外形式	本体		177(W)×455(D)×447(H)mm(ゴム足、突起部除く)	
法	キーボー	-ド	454(W)×186(D)×41(H)mm	
質	本体		約13.7Kg	
量	キーボー	-1-	約1.2Kg	
12	シストーノ	los	Windows® 2000 Professional ¹⁰ ¹¹	
サフ	ポートOS	3	Windows® Millennium Edition, Windows® 2000 Professional	
主なインストールソフト		トールソフト	Office2000 Personal	
主な添付品			バックアップCD-ROM、ガイドプック、電源ケーブル、アース線、回線接続ケーブル、保証書	

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによって は、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

- 1 : 増設RAMサブボード(128Mバイト)を2枚1組で2組(合計4枚)実装する必要があります。標準実 装のメモリを取り外す必要があります。
- 2 : 接続する周辺機器及び利用するソフトウェアが、本インターフェイスに対応している必要があります。
- 3 : USBコネクタから消費する電流が100mA以下の機器に限ります。
- 4 : 3モード(720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイト)に対応しています。ただし1.2Mバイトの フォーマットは不可です。
- 5 : 1Gバイトを10億バイトで計算した場合の数値です。
- 6 : Windowsのシステムからは、容量が約55.8Gバイトと認識されます。
- 7 : ドライブを垂直の状態で使用する場合、8cmCDは使用不可です。
- 8 :本体の1ポートはキーボードで占有、キーボードの1ポートはマウスで占有します。
- 9 : 56Kbpsはデータ受信時の速度です。データ送信時は33.6Kbpsになります。
- 10: 添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用できます。
- 11: **別売の**Windows_∞ 2000 Professional**パッケージをインストールおよび利用することはできま** せん。

Windows_☉ Millennium Editionを利用する場合は、アプリケーションCD-ROM にある次のファ イルに記載されている説明をご覧になり、新規にインストールしてください。 CD-ROM ドライブ名:¥WINMF¥SETUP txt **6** 付録

LAN**ボード機能仕様**

ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX使用時:100Mbps
	10BASE-T使用時:10Mbps
伝送路	100BASE-TX使用時:UTPカテゴリ5
	10BASE-T使用時:UTPカテゴリ3,4,5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1024台/ネットワーク
ステーション間距離/	100BASE-TX:最大約200m/ステーション間
ネットワーク経路長	10BASE-T:最大約500m/ステーション間
	最大100m/セグメント

リピーターの台数など、条件によって異なります。

ATコマンドについては、『NEC電子マニュアル』の「ATコマンド」をご覧 ください。

ATコマンド

FAXモデムボード機能仕様

注 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

	交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
	適用回線	加入電話回線
	同期方式	半二重調歩同期方式
	通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps 注
Å	通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
X	変調方式	QAM:14400/12000/9600/7200bps
機		DPSK:4800/2400bps
能		FSK:300bps
	送信レベル	-10~-15dBm(出荷時-15dBm)
	受信レベル	-10~-40dBm
	制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS1)
	適用回線	加入電話回線
	同期方式	全二重調歩同期方式
	通信速度	送受信:33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/
		14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps 注
		受信のみ:56000/54667/54000/53333/52000/50667/50000/
		4 9 3 3 3 / 4 8 0 0 0 / 4 6 6 6 7 / 4 6 0 0 0 / 4 5 3 3 3 / 4 4 0 0 0 / 4 2 6 6 7 /
		42000/41333/40000/38667/38000/37333/36000/
		34667/34000/33333/32000/30667/29333/28000bps 注
デ	通信規格	K56flex ITU-T V.90/V.34/V.32/V.32bis/V.22/V.22bis/V.21
	変調方式	TCM:56000/54667/54000/53333/52000/50667/50000/
12		49333/48000/46667/46000/45333/44000/42667/
두		42000/41333/40000/38667/38000/37333/36000/
Ĺ		34667/34000/33600/33333/32000/31200/30667/
機		29333/28800/28000/26400/24000/21600/19200/
能		16800/14400/12000/9600/7200bps
		QAM:9600/7200bps
		DPSK:4800/2400/1200bps
		FSK: 1200/300bps
	エラー訂正	ITU-T V.42(LAPM)MNP class4
	データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
	送信レベル	-10~-15dBm(出荷時-15dBm)
	受信レベル	-10~-40dBm
	制御コマンド	HayesATコマンド準拠
	適用回線	加入電話回線
	ダイヤル方式	パルスダイヤル(10/20PPS)
N		トーンダイヤル(DTMF)
C	NCU形式	AA (自動発信 / 自動着信型)
U		MA (手動発信 / 自動着信型)
機		MM (手動発信 / 手動着信型)
能		AM (自動発信 / 手動着信型)
	制御コマンド	HayesATコマンド準拠
		EIA-578拡張ATコマンド(CLASS1)

割り込みレベル・DMAチャネル

割り込みレベル

工場出荷時の割り込みレベルは、次の通りです。

割り込み優先順位	割り込みデバイス
IRQ00	(空き)
IRQ01	PS/2接続キーボード
IRQ02	(空き)
IRQ03	(空き)
IRQ04	シリアルポートA
IRQ05	SMBUS Controller
IRQ06	フロッピーディスクドライブ
IRQ07	(空き)
IRQ08	リアルタイムクロック
IRQ09	USB/LANまたはFAX/サウンド/ACPI-Compliant
	System/グラフィック
IRQ10	(空き)
IRQ11	(空き)
IRQ12	PS/2接続マウス
IRQ13	数値演算コプロセッサ
IRQ14	プライマリIDE
IRQ15	セカンダリIDE

DMA**チャネル**

工場出荷時のDMAチャネルの割り当ては、次の通りです。

DMA	データ幅	システムリソース
0	8または16ビット	(空き)
1	8または16ビット	(空き)
2	8または16ビット	フロッピーディスク
3	8または16ビット	(空き)
4	16ビット	DMAコントローラ
5	16ビット	(空き)
6	16ビット	(空き)
7	16ビット	(空き)



本機のお手入れは、それぞれ次の要領で行ってください。



6 付 録

- チェック // ・水や中性洗剤は、絶対に本体やキーボードに直接かけないでください。故 障の原因になります。
 - ・ シンナーやペンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは、使用しな いでください。本体の外装をいためたり、故障の原因となったりします。

マウスのクリーニング

マウス内部のローラーやボールが汚れると、マウスポインタの動きが悪 くなります。とくに汚れがたまりやすいので、定期的にクリーニングして ください。ローラーだけクリーニングするときは、4~6の手順は省略して もかまいません。

- 1 本機の電源を切り、マウスのケーブルをキーボードから外す
- 2 マウスの裏側のボール止めを、下図の矢印の方向に回転させる



3 ボール止めを取り外し、ボールを取り出す



- 4 ボールを中性洗剤で洗い、汚れを落とす
- 5 水で中性洗剤を洗い落とす
- 6 布で水分をふき取り、風通しの良いところで充分に乾燥させる

7 マウス内部のローラーの汚れを、水分を含ませた綿棒でこすり 落とす

汚れが落ちないときは、柔らかい歯ブラシなどで汚れを取ります(このとき、歯ブラシに水やはみがき粉などを付けないでください)。



- 8 ボールをマウスに戻す
- 9 ボール止めを取り付け、手順2と逆の方向に回して固定
- - クリーニングの際にマウスから取り出した部品は、なくさないようにして ください。
 - 水や中性洗剤は、絶対にマウスに直接かけないでください。故障の原因となります。
 - シンナーやベンジンなどの有機溶剤は、使用しないでください。マウスの 外装をいためたり、故障の原因となったりします。
 - ローラーの汚れを取る場合には、絶対に金属プラシやカッター、ヤスリなどのような硬いものは使用しないでください。ローラーに傷が付き、故障の原因となります。



英数字

100BASE-TX 46
100BASE-TX/10BASE-T 用コネクタ 6
10BASE-T 46
1G バイト 35
1M バイト 35
3.5インチフロッピーディスクドライブ 3
3.5 インチベイ 84
5 インチベイ 64, 89
AC97 Audio112
AC 電源コネクタ 5
Assign HDD Password118
AT コマンド 48
Auto Suspend Timeout122
BIOS100
BIOS LOCK 51
BIOS Revision108
BIOSセットアップメニュー104
Boot-time Diagnostic Screen 108
BUSY インジケータ 4
CD-R/RW 89
CD-R/RW ドライブ 3, 40
CD-ROM ドライブ 89
Chassis Instrusion114

Diskette Access116
DMA チャネル 176
DMI Event Logging 113
DPMS 33
ECC 機能 53
Event Logging113
Extended Memory108
FAX 通信機能 48
FAX モデムによる電源の自動操作 18
FAX モデムボード 6, 48
FAX モデムボード機能仕様 175
I/O Device Configuration
I/O ロック 52
IDE 信号ケーブル 78
IEC825 iv
IRQ 109
ITU-T 48
JIS iv
K56flex 48
Keyboad Power On122
LAN 46
LAN の設定 46
LAN ボード 6
LAN ボード機能仕様 174
Local Bus IDE adapter

MIDI/Joystickコネクタ8
Mouse Power On123
Network Boot Setting117
PC-11-1988 iv
PC-98007
PCI Configuration109
PCI スロット 8
PCI ボード
PCIボードの取り付け 74
PK-CA1017
PK-CA1027
PK-FP002 51
Plug & Play O/S109
Power Button Behavior122
Power Loss Resume 122
Power Savings121
Primary Master107
Primary Slave107
PS/2 接続キーボードコネクタ 8
PS/2 接続マウスコネクタ 8
QuickBoot Mode112
README 59
Removable Devices124
Resume On Modem Ring123
Resume On PME123
RS-232C 変換アダプタ 7
Secondary Master107
Secondary Slave107
Security Mode116
Set Supervisor Password115

Set User Password116
System backup reminder117
System Memory108
USB コネクタ 4,5
VCCI iv
VESA 33
Virus check reminder117
Windows 2000 の設定 135
Windows セットアップの修復 132

ア行

アース端子	7
赤い ×」	59
アナログRGBコネクタ	7
アプリケーションを再セットアップ	する
	136
イラスト	136 iii
イラスト ウイルス	136 iii 52

カ行

解除 1	00
解像度	31
書き込み禁止	39
カスタム再セットアップ 1	28
カバーをロック	53
画面	iii
黄色いり」	59
起動順位 1	24
休止状態	15

筐体ロック		53
ケーブルストッハ	8,	67
工場出荷時の設定	2 値 1	05
高調波電流規制		iv
誤挿入防止機構		72

サ行

再セットアップ	126
再セットアップする前の注意	127
サウンド機能	44
自己診断画面	108
システムの修復方法	127
システムを修復する	130
ジャンパ	100
周辺機器	56
重要な情報	59
瞬時電圧低下	iv
省電力	33
省電力機能	33
シリアルコネクタ	7
信号ケーブル	78
スーパバイザパスワード	100
スキップセクタ	35
スタンパイ状態	9
ストラップスイッチ	100
スロットの位置	70
スロットの種類と数	77
セーフモード	131
設定	100
接続可否	56

接続前の確認	56
増設 RAM サブボード	69
増設 RAM サブボードの取り付け	71
増設 RAM サブボードの取り外し	70
増設ハードディスクドライブ	83
ソフトウェアパワーオフ機能	53

タ行

タイマ	18
通風孔	7
データ通信機能	48
ディスクアクセスランプ	3
ディスクイジェクトボタン	3
ディスクトレイイジェクトボタン	4
デバイスドライバ	57
デバイスマネージャ	56
電源 9, 1	52
電源ケーブル	77
電源スイッチ	45
電源ランプ 2,	45
電波障害	iv
電話回線用モジュラーコネクタ	6
電話機用モジュラーコネクタ	6
盗難防止	7
ドライブ番号	36
トラブル	59
取り付け順序	69

ナ行

内蔵3.5インチベイ	 78

内蔵機器	62
内蔵機器の取り外し/取り付け	77
認証番号	iv
ネームプレート	98
ネットワーク通信/接続ランプ	6

八行

ハードディスクアクセスランプ3
ハードディスクドライブ 34
ハードディスクドライブの取り付け 78
ハードディスクパスワード 52, 118
パスワードの解除100
バックアップ 34
ハブ 46
パラレルコネクタ
表示色 31
標準再セットアップ 128
ファイルペイ4
ファイルベイカバー4
ファイルペイ用内蔵機器 77
復帰 10, 11
プラグ&プレイ 56
不良セクタ 35
プリンタインターフェース変換アダプタ 7
フロッピーディスクドライブ 38
フロントマスク 4, 64
フロントマスクの取り外し 64
ヘッドホン端子 4
ヘッドホンボリューム4
本機のお手入れ

本体	 iii

マ行

マイクロホン端子	5
マルチポートリピータ	46
ミニDIN6ピン	8
ミニジャック	5
メモリ容量の確認	73

ヤ行

ユーザパスワード	
輸出	vi

ラ行

ライトプロテクト	39
ライトプロテクトノッチ	39
ライン出力端子	5
ライン入力端子	5
リソース	56
リソースの競合	59
リンクケーブル	46
レーザ安全基準	iv
レフトカパーの取り付け	63
レフトカパーの取り外し	62
漏洩電流自主規制	iv

ワ行

割り込みレベル 60, 176

活用ガイド

VALUESTAR

(Windows 2000 Professionalインストールモデル)

初版 2000年12月 NEC P